

No.	資料	ページ 番号	項目	意見等	対応の方向性	担当部	
1	1	5	第1編 序論 第4章 市民 意識調査の 結果	「(3) 北名古屋市の良い点や魅力」の設問に対する回答結果において、「17. まちに活気がある」が0.7%と低い。活気あるまちづくりの検討を要する。	②計画に趣旨を反映します。	序論のP9にある「(2) 将来のまちの活性化のために重要なこと」の調査結果において、「西春駅や徳重・名古屋芸大駅の周辺を再開発し、都市の拠点性を高める」が45.6%と最も高い結果となっています。分野別計画で該当する主な施策として、「4-2 市街地・下水道」がありますが、魅力ある都市基盤づくりにより、活気あるまちづくりを進めていきます。	総務部
2	1	5	第1編 序論 第4章 市民 意識調査の 結果	「(3) 北名古屋市の良い点や魅力」グラフの項目で「2. 高速道路のインターチェンジが近いなど、交通が便利」とあるが、市内のにインターチェンジがあるので、「・・・インターチェンジがあり」と項目を変えた方がよい。	③対応は困難です。	この部分については、市民意識調査の調査項目のため、本総合計画では変更できません。次回の総合計画に申し送りします。	総務部
3	1	全体	市民協働	各項目ごとに『協働の考え方』の項目がつけられたことはとても素晴らしいことです。しかし、なぜ協働なのか、北名古屋市として新しい公共を作っていこうとしていることの説明が不足しているように感じます。数年来この考え方を示し、実践されてきたことは十分承知しておりますが、まだまだ市民への周知は十分ではないと思います。是非、これが北名古屋市の目指す形であることを付け加えていただきたいと思えます。	①計画に盛り込みます。	序論 第5章 社会動向 5 地域運営の重要性 (14ページ)の計画に求められる視点に加筆します。	総務部
4	3	全体	表記方法	「施策がめざすまちの姿」の「〇〇〇しています。」という表現の仕方について、何かちょっと違和感があり、分かりづらい人がいる気がします。	③対応は困難です。	基本計画に示した「施策がめざすまちの姿」は、該当の施策がめざす「まちの状態」を表しており、表現を統一しています。この表現が浸透していくよう、説明をしていきます。	総務部
5	3	全体	表記方法	〈主な取組〉の記載の仕方を統一する。	②計画に趣旨を反映します。	名称だけで読み取れる「取組」については、そのままとしていおり、読み取れないと判断した「取組」については補足の言葉を付けています。	総務部
6	3	全体	表記方法	「連携」という言葉がたくさん出てきて、硬いイメージで義務のような感じがありました。大切なことなのでしっかり読んでもらうためにも、違う言い方の箇所があってもよいのではないかと思います。	②計画に趣旨を反映します。	「連携」という言葉がたくさん出ている理由として、横断的な取組が重要な施策が多いことによりますが、別の表現の方が分かりやすい場合には適宜修正します。	総務部
7	3	全体	表記方法	こういう計画は、60歳代、さらに1世代・2世代も上の人も目を通されると思う。そういう人でも良く理解できる文言を使うべきだと思う。例えば、「ニーズ」というあいまいな言葉が、最近よく使われるが、「要望」「要求」「希望」等日本語として分かり易い文言を使うべきだと思う。昔の経験で、「最近では、カタカナ言葉が多くてよく分からない」と言われたことがある。	②計画に趣旨を反映します。	分かりやすい表現に修正していくとともに、説明が必要な用語については、第2次北名古屋市総合計画の公表時に、「用語解説」を記載します。	総務部
8	3	全体	表記方法	仲間同士でしか通用しない意味不明の用語の単独使用はやめる。当該個所に説明があればよい。例…県のマイレージ制度、ゲートキーパー	②計画に趣旨を反映します。	分かりやすい表現に修正していくとともに、説明が必要な用語については、第2次北名古屋市総合計画の公表時に、「用語解説」を記載します。	総務部
9	3	全体	用語解説	できるだけ市民に分かりやすい言葉を使うべきであるが、H20-29の総合計画にあったような「用語解説」は必要。	①計画に盛り込みます。	第2次北名古屋市総合計画 素案の「用語解説」は、委員の皆様「資料4」で事前送付させていただいております。なお、冊子として第2次北名古屋市総合計画の公表時に、できる限り分かりやすい言葉を使うとともに、「用語解説」を記載します。	総務部

No.	ページ番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部	
1-1 健康・医療						
1	2	②健康づくりに取り組みやすい環境の充実	①早朝ラジオ体操会の支援 ②ウォーキングマップの充実	⑤既に計画に盛り込まれています。	②健康づくりに取り組みやすい環境の充実に●日常的な運動習慣の定着を図るために、手軽に参加できる運動機会の充実を図ります。●健康・食育関連のボランティア団体の活動を支援します。等があり、具体的な事業は盛り込まれております。	市民健康部
2	3	④かかりつけ医・薬剤師の普及	前回の計画から続いているテーマであるが市民意識調査では、60%の人がかかりつけ医がいるとの認識である。私自身はかかりつけ医・薬剤師として登録・契約したことがなく、この数値に驚いている。	⑥その他	市民意識調査の結果から、更にかかりつけ医・薬剤師等の必要性について啓発に努めるものです。	市民健康部
3	3	⑤救急医療体制の充実	救急者の悪用（タクシーがわり、待たずに治療）する人が増加していると聞く。その対応策はできているのか。	⑥その他	西春日井広域消防において年2回の広報で周知しています。	市民健康部
1-2 地域福祉						
4	6	①地域で支えあう環境づくり	「向こう3軒両隣」の考えを取り入れて欲しい。この考えは、子育て支援等いろんな分野で生きてくると思う。	⑤既に計画に盛り込まれています。	いざという時に助け合えるよう、ふだんから隣近所で「向こう三軒両隣」の関係を築き、支援体制を整備します。	福祉部
5	6	③ボランティア活動の推進	〈主な取組〉ボランティア活動は社会福祉協議会だけでないので、社協に属さないボランティア活動の支援が必要です。	④事業実施の中で検討します。	地域福祉として、担当部である福祉部の担当部署（社会福祉課、高齢福祉課、児童課、家庭支援課）の分かる範囲で計画に反映していますが、教育専門、市民協働などそれぞれの分野で専門のボランティアと結びついており、現段階での一元的な把握には限度があります。そのため、1-2地域福祉の分野では、福祉部の担当部署で把握しているものに限定して掲載してまいります。	福祉部 教育部
6	6	③ボランティア活動の推進	〈追加〉 ・いくつかの作業内容を書いたチラシを作り口コミで募集する。 〈理由〉 1. 毎日が日曜日になってもボランティア活動の誘いは一度もなかった。 2. 60代の高齢者で潜在的にいると確信している。	④事業実施の中で検討します。	主な取組の中で広報事業の一環として対応していきたい。 また、高齢者の募集については、高齢者福祉ガイド及び福祉施設並びに老人クラブ連合会の行事時にチラシで募集しています。今後も引き続き幅広く募集していきます。 地域で活動していただける方を募集していますが、活動内容を限定しての募集が多いことや養成講座が必要なボランティア活動もあるため、広報等で募集する形式をとっています。より多くの方に募集内容を周知できるように検討していきます。	福祉部
7	7	取組指標	ボランティアセンター登録団体以外の団体も含める	③計画に盛り込むことは困難です。	地域福祉として、担当部である福祉部の担当部署（社会福祉課、高齢福祉課、児童課、家庭支援課）については、分かる範囲で計画に反映しますが、個人的なボランティア、担当以外の部署については、限度があります。※「ボランティアセンター登録団体」の項目を「ボランティア登録」として、登録団体以外も含めることも可能と考えます。	福祉部

No.	ページ番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部	
1-3 子育て支援						
8	9	全体	<p>少子高齢化、人口減少が進むなか子育てを支援し、子どもを増加させ今後の高齢化対策を立案する。子供増加は一朝一夕で成しうる事は出来ず長期計画が重要且つ必要です。積極的に推進が望まれます。早期の対応が不可欠と考えられます、引き続きの対策・対応が必要です。保護者が働きながら子育てをする。経済的支援にとどまらず環境面の支援を考慮する必要を強く感じます。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>市では、保育所に待機児童を出さないよう保育環境の拡充と児童クラブの増設により子育てしやすいまちづくりを進めています。今後も、民間事業者と協働しさらに子育て環境の整備を進めていきたいと考えます。</p>	福祉部
1-4 高齢者福祉						
9	13	現状と課題	<p><追加してはどうか> ○介護を担う世代が介護保険制度の理解が十分ではなく、突然の介護に戸惑うことが多い。この世代への介護保険制度の周知啓蒙の必要があります。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>介護保険制度についてホームページや出前講座、パンフレットの配布を実施していますが、さらに困ったときに相談できるような身近な相談場所を確保していくよう検討中です。</p>	福祉部
10	13	現状と課題	<p>○高齢者の増加に伴い、現在のように病院で最期を迎えるには限界があり、在宅で最期を迎える人の体制整備が必要となる。高齢者自身が意思決定できる環境づくりと在宅医療・介護の充実がもとめられています。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>延命治療の意志も含め高齢者が元気なときから自己決定できるような支援体制が必要で、エンディングノートの活用や在宅医療・介護の研修会等をとおして普及していきます。</p>	福祉部
11	13	現状と課題	<p>○サービスにつながらない重症化した認知症の人の介護者がまだまだ地域に潜在しています。身近な相談窓口を広く周知する必要があります。</p>	⑤既に計画に盛り込まれています。	<p>認知症の方は、今後益々増加していきます。身近な相談窓口の設置と専門職の配置を検討中です。</p>	福祉部
12	14	①高齢者の社会参加の促進	<p>市内には豊富な知識と経験を持ちそれを社会に還元していきたいと思っているリタイアした高齢者が沢山生活しているはずである。現在もシルバー人材センター等へ登録している方々もおられるが、そこへの求人はこちらかと言えば単純作業、軽作業が多い。かって企業、役所等でマネジメント業務、管理職業務に携わっていたり、専門知識を生かして活躍しておられたり、教育・研究の分野、芸術の分野等で活躍していて、リタイア後もその専門的経験、知見を活かして、社会参加をしていきたいと思っておられる方々を登録して、市内企業や学校ボランティアの場等に斡旋、紹介するのを目的とした『シルバー人材バンク』のようなものの設立が考えられないだろうか考える。</p> <p>実は昨今の求人難もあり、中小零細企業は管理部門での人材不足も結構深刻な状態である。大企業で実績を積み重ねた人材に地元の中小企業で活躍する機会を提供することは、地元企業の活性化にもつながる。</p> <p>実は昨今の求人難もあり、中小零細企業は管理部門での人材不足も結構深刻な状態である。大企業で実績を積み重ねた人材に地元の中小企業で活躍する機会を提供することは、地元企業の活性化にもつながる。</p> <p>また、教員の働き方改革と取り組み始めた小中学校現場でもそういった人材の活用ができないかとも思う。こちらは就労の機会を提供するのではなく、教育ボランティアという形となるが、やりがいを感じる方も結構おられるのではないかと思う。</p> <p>出前授業の派遣サービス等も面白いと思う。</p>	⑥その他	<p>リタイヤした経験者の登録には就労型とボランティア型の2種類に分かれます。就労型はハローワークとシルバー人材センター(有料職業紹介事業)を紹介しています。また、ボランティア型は無償ボランティアで社会福祉協議会(ボランティアセンター)を紹介しています。</p> <p>特に、管理職や技術職等の専門的知識を求める企業等からの求人はハローワークに窓口が設置されており、経験者の知識を生かすためには、企業との連携が幅広く進められているハローワークを活用していただくことが最善であると考えます。</p> <p>また、ハローワークは、職業安定法により、求職者から手数料・紹介料を徴収することは禁じられており、(一部例外規定あり)また、人材バンク(民間有料職業紹介事業者)は、求人者から受付手数料と紹介料を徴収し、これを主な収入源として運営されることから、国の機関であるハローワークを活用していただくことが専門性を生かすとともに利用者にとっても最善な制度あると考えるため、必要な事業であるとは思いますが、ハローワークやシルバー人材センター、社会福祉協議会を活用したいと思いませんので、早期の人材バンク設置は現在のところ考えていません。</p>	福祉部

No.	ページ番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部
			<前葉の続き>		
13	14	①高齢者の社会参加の促進	活動参加のきっかけづくりは前回の計画にもあったが、何を10年間してきたのか私には記憶が無い。もっと解り易いチラシとか、口コミとか継続した取組みが必要と考える。	②計画に趣旨を反映します。 ④事業実施の中で検討します。	教育部 福祉部
14	14	③地域包括ケアシステムの構築	2つ目の● 内容が大きすぎ? 「地域包括ケアシステム」の全体の説明になってしまっている。 5つ目の● 訪問介護等の在宅医療の取組が見当たらないため、文章の最後を「在宅医療・介護の充実や地域づくりを進めます。」としてはどうか。	⑥その他	福祉部
15	14	③地域包括ケアシステムの構築	認知症対策について、現在介護を行っている場合、公共施設へはなかなか入居が難しい。どうしたらスムーズに早く入居できる様にするにはどうしたら良いか。 私的施設は即入居出来るが、費用が高いため入居が無理な人が多いです。	⑥その他	福祉部
16	15	取組指標	可能なら「地域包括支援センターの周知度」を追加してはどうか。	⑥その他	福祉部

No.	ページ 番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部
17	14	全体	超高齢社会を迎え、健康寿命の延伸が非常に大切である。よく病院で高齢者同士が顔見知りとなり、話に花が咲いている光景を見かけるが、極端であるが、喫茶店の補助を出すくらいのことをすれば、結果的に医療費の削減につながるかもしれない。また、高齢者が家に引きこもらず、外に出てもらうためには、市内の各公共施設を順に使って、月1回程度、講演会をやることも有効である。	②計画に趣旨を反映します。 高齢者の方が健康で生きがいのある生活を送るため、高齢者がひきこもることの無いよう各種事業を展開しています。今後とも老人クラブ連合会（長楽会、いきいき健康クラブにて毎月事業開催）への加入の促進や老人憩いの家への施設利用及び施設クラブの加入、更には地域ふれあいサロンへ参加と既設の事業を充実させ幅広く実施及びPRをしていきます。 また、健康で自立した生活が送れると引きこもりも少なくなります。定期的な健康の確認と治療の継続、生きがいづくりを実施している関係機関等がネットワークをもち情報提供できるよう研究してまいります。 高齢者の培った知識・技術を發揮していただく場を作っていく体制を行政+民間企業+住民で協働して創っていく体制も含め研究していきます。	福祉部
18	14	全体	現在、社会福祉協議会では、車5台運転手5人の体制で無料の移送サービスを行っているが、月300件の依頼がある。まだ知っている人は一部だが、これが広まれば、もっと需要があるはずである。	⑥その他 無料の移送サービスについては、北名古屋市、社会福祉協議会と連携した高齢者福祉ガイドブックを作成して事業の周知をしています。周知の方法としては民生児童委員に訪問配布を依頼するとともに東西庁舎窓口及び市内の福祉施設等に配置しています。今後も引き続きPRをしていきます。 社会福祉協議会での移送サービスは需要が大きく供給が追いつかない状況に至っています。今後は、ボランティアの増加や送迎車の増加、他の移動手段の確保等課題はありますが、引きこもりを防ぎ、外出支援を行うことは重要であると考えます。	福祉部
2-1 学校教育					
19	23	現状と課題	徳重、米野の一地区は名鉄線の東側にあり、小学生は踏切を渡り、名草線の陸橋を越え五条小学校に行っていて不自然だと思う。（近くに師勝西小学校がある）少子化に伴い学校の統廃合も今後10年の間にでてくると考えられる。	⑥その他 指定校が遠距離（小学校は直線距離が概ね1km以上、中学校は直線距離が概ね2km以上）で、より近い隣接校への就学を希望する場合、新たに1年生に就学する児童・生徒は、就学校を変更することができます。 統廃合は地域に及ぼす影響等が大きいことから計画的に取り組む必要があります。現在の0歳児までの校別人口によると、統廃合には時期が早いと考えられますが、人口動態は注視してまいります。	教育部
20	24	①社会を生き抜く力の育成	〈主な取組〉 外国人の子供の日本語教育支援	⑥その他 主な取組には記載していませんが、現在、スペイン語の県語学相談員が学期に2～3回来校。市の国際交流協会のボランティアによる日本語指導を、週に1回、授業後に実施。翻訳ボランティアをお願いして学年通信等を母国語翻訳してもらい、該当児童の保護者に配付するなどの取り組みを実施しています。 平成29年5月現在、スペイン語3名/3校。ポルトガル語7名/4校。フィリピン語15名/6校。中国語3名/3校。英語1名/1校。トルコ4名/3校。モンゴル1名/1校。計34名。	教育部

No.	ページ番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部
21	24	②未来への飛躍を実現する人材の育成	文科省から示された「学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」によると、小学校における外国語教育の導入にあたり外国語が堪能な外部人材の活用や教材の開発・整備など指導体制の構築が必要と述べられている。 学習指導要領改訂の時期であることを考えると②未来への飛躍を実現する人材の育成＜主な取組＞の項目として「ALTの派遣」以外で何か考えた方がよいように思われる。	④事業実施の中で検討します。 世界に羽ばたく人材の育成は、本市の教育大綱の基本施策であります。現在、下記のような取組みを行っていますが、今後も事業実施の中で検討していきます。 【小学校外国語活動研修会】教員の外国語活動の授業力向上を目指して実施 【小学校英語授業研修会】小学校5、6年生の外国語科の授業を実施していくにあたり、担任として行う授業の基本を学びます。 【英語検定試験】小学校6年生、中学校3年生を対象に児童生徒の英語力の客観的な検証を行う。 教員の授業力向上、児童生徒の英語を活用できる機会づくりや小学校への教科担任制の導入を進めていきます。	教育部
22	25	④地域とともにある学校づくり	地域の方々が講師となる取り組み 自治会と共に学校づくりを行う	⑥その他 少子高齢化の進展、地域のつながりの希薄化、共働き世帯の増加等により、子供たちを取り巻く環境が今後ますます変化していくことから、学校を核として地域の方々や専門家が学校運営に積極的に参画して学校づくりを行うことは地域の活性化、地域ぐるみの健全な子供の育成に大変重要であると考えます。また、今年4月から施行された学校教育法施行規則の一部を改正する省令により、学校における部活動の指導体制の充実を図るため、校長の監督のもと、部活動外部指導員、顧問を学校に派遣できることとなったので、希望校に派遣できるよう制度化し充実していきます。 「地域とともにある学校」を目指して、地域と学校が連携・協働を行うコミュニティスクールを実践しています。またそれを地域側から支えるため「地域学校協働活動」を展開。地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）が学校とボランティアとの橋渡し役を担い、連携事業を進めています。	教育部
23	25	④地域とともにある学校づくり	地域と学校、非常に大切であるが、学校とボランティア活動との連携もあっても良いと思う。（師勝北小学校と防災ボランティアで防災マップ作りをしたら小学生達が生き生きと活動した事例から）	⑤既に計画に盛り込まれています。 今年度から16校に学校運営協議会（コミュニティスクール）が設置されました。 地域の参画による学校の教育活動等の支援など、学校・家庭・地域が協働で教育支援に取り組む仕組みづくりを一層の拡大・充実を図り、将来の地域を担う人材の育成を推進します。	教育部
24	23	全体	子育てを支援し子供を増加させる。子供を人間性豊かに育成すると共に社会の常識、良識を十分理解できる人材にすべく努力する。	⑤既に計画に盛り込まれています。 主要施策の①社会を生き抜く力の育成、②未来への飛躍を実現する人材の育成、④地域とともにある学校づくりが基本的な方向性で、特にコミュニティスクールにより、子どもが様々な大人と触れ合い、学ぶ意欲やたくましく生きる力が身に付くように、家庭や地域の教育力の向上を支援します。	教育部

No.	ページ番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部	
2-2 生涯学習						
25	27	現状と課題	2番目の●高齢者の学習機会を充実し、「高齢者が生きがいを持って健康生活を送れるよう、また」地域社会で活躍できる仕組みの…の「」部分を追記する必要があると思います。	①計画に盛り込みます。	ご指摘の部分を前段に「高齢者が生きがいを持った健康な生活を送れるよう、学習機会を充実するとともに、地域社会で活躍できる仕組みの構築が求められます」に改めます。	教育部
26	28	①学習機会の充実	〈主な取組〉に 社会教育関係団体の行う講座の支援 会場 及び 広報 等	⑤既に計画に盛り込まれています。	社会教育関係団体には、活動に要する経費に対し補助金を交付するなど、団体の円滑な運営を支援しています。 ○ 社会教育団体への活動助成	教育部
27	28	①学習機会の充実	3つ目の●「自主的な学習グループの育成」について ・市内の公共施設は会議室が有料、教材保管場所がないため不便。 図書館内の会議室が利用できれば、その都度、図書館資料を教材として貸出して学習に役立てやすい。(但し、騒音迷惑を考えると不適かもしれない。) 関連 資料 8 団体ヒアリング結果まとめ p. 2 施策に対する要望「使える場所がない」	⑤既に計画に盛り込まれています。	図書館の会議室は、無料とし、合わせて図書館に関連する事業を行う団体等及び市が主催する事業に提供しています。図書館の機能を高めていくため、図書館に関連する団体の育成は重要であると考えています。 提供する際には、図書館の利用を妨げないよう、過度な音量を伴う事業、会議室・視聴覚室などの室内で収まらない事業などは図書館の利用を損なうものとして受け入れておりません。	教育部
28	28	②生涯学習の基盤整備	●サービスの・・・官民連携による生涯学習施設の運営を検討します。→・・・運営を行います。に修正	④事業実施の中で検討します。	計画のため、「検討」の表現にご理解願います。指定管理者制度導入等において官学民連携を考えてまいります。	教育部
29	28	②生涯学習の基盤整備	〈主な取組〉に「自治会の施設の活用」を追加	③計画に盛り込むことは困難です。	「自治会の施設の活用」については、自治会管理の施設のため、追加することは難しいことをご理解願います。	教育部
30	28	②生涯学習の基盤整備	2つ目の●「図書館の機能の多様化」 ・テーマ本紹介コーナーを、市内各サークル・ボランティア団体・企業・芸大生が持ち回りで担当できないか。 図書館としては、市内にどんなグループがあり、市民が何を学んでいるか、どんな資料が必要かわかる。 各グループとしては、会員募集のチラシを一緒に置いたり、図書館の受付に連絡先紹介(社協の紹介)を担ってもらい、会員募集やPRができる。 〈展開〉ふれあいフェスタなど市内のイベントへ図書館員が出向いて、ブースを出すアウトリーチサービスも考えられる。	⑤既に計画に盛り込まれています。	テーマ本の紹介については、本年度5月より広報紙面と連携し、より図書館活動及び図書館員と市民を近い位置に置くための取組みを開始し、実施しているところです。図書館員の研鑽と市民との融合を目指す取組みとして継続を予定しています。 市内各サークル・ボランティア団体・企業・芸大生との連携については、年間を通じた諸活動及び館内で実施するイベントなどでの連携により機能の多様化を目指しています。 アウトリーチについては、現在、ブックスタートを実施しているところですが、新たな展開を研究しています。	教育部

No.	ページ番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部	
31	29	取組指標	<p>・取組指標「図書館入館者数」が増加する目標値となっているが、図書館内に静かさを求める声もあることを忘れないでほしい。（静かな閲覧席の確保など。）</p>	<p>⑤既に計画に盛り込まれています。</p>	<p>取組指標として入館者数を提示したのは、図書館の機能が本の貸出し以外にも多様な機能を持っていることから、貸出し件数や貸出冊数を指標とせず、図書館に足を運んでいる人の数としました。 多様な機能を持っているということは、ハード面においても多様化が必要と考えています。 平成28年度に実施した利用者アンケート調査をもとに、貸出しを軸にしつつ、「場」「居場所」としての図書館の機能をバランスよく付帯させていく計画です。</p>	教育部
32	27	全体	<p>1. 「北名古屋市民生涯大学」の構想 生涯学習は対象者が幅広く、また興味関心も多岐にわたるため、企画・立案・運営のフォーカスをどこにもっていくのが難しい。そこで、興味の違い、レベルの差、年齢差などすべて包括し、老いも若きも、学びたいときに学びたいこと学べるような生涯学習の場を創設するのはどうだろうか。特別なことを新しく考えるのではなく、今までの教育委員会主催の生涯学習講座、名古屋芸術大学生涯学習講座などや、文化協会の登録団体などが指導者となって一般市民に入門講座を開講するなど、今までのものを「大学」とひとくくりにし、まとめ、単位を出し、向学心に火を灯し、磨きをかけるようなシステムを構築するのはどうか。現状の生涯学習講座は文化センターの領域を出ていない。一般教養的な講座から、専門的な講座に深く学べるような選択肢があってもよいと思う。 名古屋芸術大学の講座も平日の昼間の時間帯がほとんどで、休日や夜間、または早朝といった時間帯に実施していることは少ない。名古屋市の衛星都市として今後発展する上では、健康、福祉、社会教育にとどまらず市民同士が自由に交流する「場」が必要不可欠となる。文化勤労会館を「北名古屋市民生涯大学」として活用し、高齢化社会においてもますます元気になるような地域を目指したい。</p>	<p>④事業実施の中で検討します。</p>	<p>確かに、生涯学習講座の受講者は好奇心が旺盛で、さらに一步を進め、さらに深く探究したいと思っておられる方が大勢みえます。「生涯大学」の発想はとてもユニークで向上心をあおるものと思いますので、生涯学習啓発の一つの方向として、その考えを活かしてまいります。 漸次ではありますが、アカデミックな、内容の濃い、レベルを上げた生涯学習講座を企画してまいりたいと思います。</p>	教育部
33	27	全体	<p>2. 「図書館の活性化」 地域の中であって、老若男女が集まりやすく、朝早くから夜遅くまで健全な交流の中心になれる場所は図書館をおいて他にない。しかし、本を読むだけ、勉強するだけ、静かにしていただかなければならない場所、というくくりからもう一步出て、他の民間の図書館がやっているような画期的なことを取り入れたらどうだろうか。カフェの併設、会議室の貸し出し、ミニミニコンサート、ミニミニマルシェ、読書会、大人のための読み聞かせ会、英語での読み聞かせ会、本あげる・本もらう会、まんがの描き方教室、作文教室、エッセイ教室、俳句・和歌・短歌教室など、文字文化に関することをすべてまとめて楽しめる場を作ったら、表現力の豊かな市民が育ち、知的レベルの高い地域になるだろう。名古屋の文教地区より、名古屋駅に近いとなれば、地の利も手伝って人気の高い地域になるだろう。</p>	<p>⑤既に計画に盛り込まれています。</p>	<p>図書館の機能は多様化しており、本の貸出し機能に止まりません。平成26年度から「図書館は玉手箱」と称し、司書体験、お話し、読書通帳づくり、ワークショップ、人形劇など様々なイベントを集約した事業を実施しており、本年度は2日間に延長して開催しております。また、年間計画のなかで図書館寄席、マジックショーなどを大学のサークルに依頼し、合わせて関連する図書資料の紹介を行っております。ほかに科学あそび講座、各種ワークショップなどを開催しております。これによって、図書館が貸出しを軸にしつつ、「場」「居場所」としての図書館の機能を保有し、生涯学習の場としての機能を高めていくことを目指しています。 平成28年度にこうした事業と利用者の整合性を図るためアンケート調査を実施しました。カフェの設置についても問いを設定しましたが、否定的な意見が大半を占めておりました。多機能化には賛同を得ており、今後もさらなる展開を図っていきます。利用者ニーズ及び市民ニーズを把握し、このまちに必要とされる図書館を目指します。</p>	教育部
2-3 文化・芸術						
34	31	協働の考え方	<p>協働の考え方 市民の役割 「・・・活動を支えます。」を「活動を行います。」に修正</p>	<p>③計画に盛り込むことは困難です。</p>	<p>前段で「…活動に関わりを持って、」と表現しており、暗に活動することを指していますので、後段の「支えます」の表現は脈絡から適当ではないかと思料します。</p>	教育部

No.	ページ番号	主要施策名等	意見等	対応の方向性	担当部	
35	32	①文化・芸術の推進	<p>本市は名古屋のベッドタウンとして非常に恵まれた地理的環境にあるが、濃尾平野の中央に位置し、景観的な特色を持つわけでもなく、個性に乏しいのが欠点である。そういった中で、名古屋芸術大学の存在は大きな可能性を提供してくれている。私は芸大と協力しながら、音楽と美術の街・北名古屋を目指したらよいのではないかと考えている。</p> <p>そのためには、芸大の卒業生が、卒業後もそのまま本市の住民として創作活動を継続し、どんどん立派な作品を本市から世に出し続けるような、そういった環境整備、事業と取り組む必要があるであろう。それなりの時間がかかるであろうが、美術品の売買もできる常設美術館の設立。</p> <p>既存施設を利用してよいが、美術コンクール、音楽祭などの開催（参加者を芸大関係者に絞ると小さくまとまってしまう。国内外に広く求めることが、本市を芸術都市として世間に有名にする秘訣である。音楽祭のモデルは浜松市）も考えられる。もちろん総花的に色々やっても効果は薄いので、何か一つに絞ることは必要であろう。</p> <p>私は、大ぼらを吹いているような気もするが、吹きついでに書き添えると、私の夢はかつて訪れた画家の街・パリのモンマルトルの丘である。そこでは至る所で絵が売られている。テルトル広場では、これから世に出ようという貧乏画学生たちが自分の作品を並べて売っている。それを求めて、観光客も含めて人が集まってくる。美術家の卵たちが自分の作品をアピールできるような公園、広場ができ、そこにたくさんの方が集まる。そんな夢も見ている。</p>	<p>②計画に趣旨を反映します。</p>	<p>本市は名古屋芸術大学と、様々な分野で交流をしている。</p> <p>市民芸術劇場では大学がコンサートを2つ開催。また、芸大が実施する21回(平成28年度)の演奏会、20種類の講座を市民にも門戸を開放して、積極的に参加を呼び掛けており、芸術文化の普及を担っていただいている。</p> <p>徳重駅間と芸大とのアートエリアロードやアートプロジェクトの宣伝に努めるとともに、学生と市民との融和を図ってまいりたい。</p>	教育部
2-4 スポーツ・レクリエーション						
36	33	現状と課題	<p>社会体育施設が充実しているほどではない中、地域における活動場所（歩いてでも行くことのできる場所）特に日中に活動場所がないと言っているほどです。例えば、地域においては、公会堂という建物があっても運動する広さはありません。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>各地域において日中に使用できる屋内運動施設が特に不足しておりますが、既存施設の有効活用及び施設にあった種目導入等についてスポーツ団体とともに検討します。</p>	教育部
37	34	①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	<p>●いつまでも健康でスポーツに親しむことができるようにレクリエーションスポーツの普及を図ります。</p> <p>→ いつまでも健康維持の為に気軽に楽しく親しむことができるスポーツ活動の普及を図ります。</p>	①計画に盛り込みます。	<p>「いつまでも健康でいられるよう気軽に楽しくできるスポーツ・レクリエーションの普及を図ります。」に修正します。</p>	教育部
38	34	①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	<p><主な取組> ○市民体育祭 ○北なごやふるさとマラソン等はイベント行事ではなく、スポーツ活動の一種として考えるのですか？→ ライフステージに応じたスポーツ活動及びスポーツイベントの推進？</p>	⑥その他	<p>ふるさとマラソン等のイベントと全国大会等出場者への激励金支給の制度を併せてスポーツ活動と表現しておりますので、ご理解願います。</p>	教育部
39	-	-	<p>「協働の考え方」がとても重要になると思うので「市民の役割」「地域・団体・事業所等の役割」の部分を目を引くように（地の色・文字の色・枠の色など）工夫するとよいのではないかと思います（ピンク地に黒字は読みづらい気がします）</p>	①計画に盛り込みます。	<p>総合計画審議会の答申後、冊子のデザインをプロのデザイナーと協議を進めていく予定であり、見やすいデザインを工夫します。</p>	総務部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
4-1 道路基盤						
1	49	全体	①現在の計画で9項目あったものが、次の計画では3-3と3-4に分割されています。これによって生活道路のハード面から安全・安心を打ち出す、特に防犯に関する配慮が欠けているように感じます。	④事業実施の中で検討します。	計画のなかでは分かりやすく分野別に分割しています。実際の整備に当たっては、ソフト対策とハード対策について、連携を取って整備を進めていきます。	建設部 防災環境部
2	49	全体	②主要施策のところに関連施策として、例えば3-2-②のように表記することで抜け落ちていないことを示すことはできないでしょうか。	③計画に盛り込むことは困難です。	関連施策については、当初設けることを検討しましたが、例えば、公共交通の関連する施策は、「健康・医療、地域福祉、子育て支援、高齢者福祉、障害者(児)福祉、社会保障、学校教育、生涯学習、防災・消防、交通安全、環境保全、道路基盤、市街地・下水道、商業・サービス業、コミュニティ・市民活動、多様な連携」があげられ、本質的な関連施策を詳細に説明した上で、列挙することができないことから、対応を見送りました。	総務部
3	49	全体	③この5年間北名古屋市では『選択と集中』ということで公共事業に取り組んで来たことを認識しております。部会の時に申しあげました「優先順位」ということについても市のおかれている財政状況の中で長い目をもって考えていることをお示しいただき、是非部会での議論があまり細部に偏りすぎないことを望みます。	⑥その他	総合計画は、施策の方針を示すのみなので、部会での議論が細部の内容に偏らないように進めます。	総務部
4	49	全体	④現計画P59にあります「歩行者や自転車を優先する道路ネットワークづくり」の進捗状況などもお示しいただけると最後に少し出された意見、「道路の何が問題か」を簡潔に考えられると思います。	⑤既に計画に盛り込まれています。	「道路」は時代の変化とともに求められる機能が変化しています。そのため、進捗状況は、延長や整備率で示すのではなく、市民の方の満足度としています。	建設部
5	49	施策名	施策名「道路基盤」を「ハートフル都市北名古屋をめざして」にする。	③計画に盛り込むことは困難です。	施策名については、総合計画全体の構成や仕立てで統一しており、原案のとおり「道路基盤」とさせていただきます。	建設部
6	49	施策がめざす まちの姿	施策がめざすまちの姿 「歩行者に優しい基盤整備が進んでいます。」にする。	②計画に趣旨を反映します。	道路基盤のめざすべき姿は、すべての道路利用者が快適に利用できる環境と考えていますので、原案のとおりとさせていただきます。 ただし、「歩行者に優しい基盤整備」は、主要施策に追加します。	建設部
7	49	①安全で快適な道路環境の整備	生活道路では自動車から自転車、歩くのエコモビリティの心がけは重要と考えますが自転車、高齢歩行者への移動不安が増幅しています。歩行者道の区別・地域別順番・識別の考えは？	④事業実施の中で検討します。	現在の計画においても取り組んでおり、優先的に公共交通機関及び公共施設周辺において、移動しやすいユニバーサルデザインを採用した整備を進めています。また生活道路においては、地元の意向を踏まえながら順次整備を図っているところです。	建設部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
8	49	①安全で快適な道路環境の整備	<p>現状と課題 <追記> 側溝及び水路が未整備の状態のところが見られ、安全対策上整備を必要とされる。 <理由> 1. 市制発足時旧師勝町は道路が狭く、しかも側溝が未整備の所が多く、水路にはフェンス等で保護されていない所も多くあり、合併契約書にはインフラギャップを解消する旨の契約がされている。2. 同じ市民でありながら、より安全に暮らす市民と安全でなく暮らす市民との差をいつまでも残したままではいけないと考える。3. 現実に車を避けそこね側溝にはまった人は身近にいる。4. 事故が発生した後に、側溝等を整備するのは本来の行政ではない。5. 集中豪雨で道路冠水があれば、側溝にはまるリスクがある。6. 健康のために歩くことが奨励されており、歩く環境は「健康・快適都市」を目指す投資の必須の課題である。</p>	④事業実施の中で検討します。	未整備の側溝や水路についての、具体的な整備箇所や整備順序については、自治会を通して提出された要望を踏まえて、決めています。	建設部
9	49	①安全で快適な道路環境の整備	<p>基本構想における基本理念「2. 便利で安全・安心な質の高いまち」と対応し、市民アンケートでも課題視されている重要な項目である。歩行者（特に高齢者や子供）の安全を確保するためにも、歩道整備が難しい幅員の狭い道路においては、ハード面のみでなくゾーン30や歩行者優先ゾーンなど、面的なソフト政策、また、ランプ（減速帯）等のきめ細かな速度制限の設置を導入し、多面的に解決を図っていくべきである。地域まちづくりなどにおいて、こうした安全面への関心の高い地域においては、こうした課題を対象として取り上げ、行政や交通局と協働し、解決策を考えていくことが望ましい。</p>	②計画に趣旨を反映します。	P50の主要施策のうち、①安全で快適な道路環境の整備の主な取組に「生活道路における速度抑制対策」を追加します。また、安全面への関心の高い地域において、地域課題の解決策を行政と地域が一緒になって考えていく取組みを進めていきます。	建設部
10	50	①安全で快適な道路環境の整備	<p>① 魅力ある公園や緑地の整備 主な取組「○歩道のカラー舗装、○主要交差点のカラー舗装」は、「4-3 公園・緑地・緑化・景観」の景観との関連で種々の議論がある問題ですので、取り扱いについて検討をお願いします。</p>	④事業実施の中で検討します。	道路のカラー舗装は、交通安全上の注意喚起を促す目的のものであるため、どうしても景観面では即わないところもあるかと思われます。特に景観に配慮が必要な箇所については、事業実施の中で配慮していきます。	建設部
11	50	①安全で快適な道路環境の整備	<p>①安全で快適な道路環境整備 主な取組「危険な歩道の整備」「ウォーキングロードの整備」</p>	⑤既に計画に盛り込まれています。	危険な歩道の整備については、順次取組んでいます。また、ウォーキングロードの整備は、4-4河川・雨水処理の中で魅力的な水辺環境の整備について盛り込まれており順次整備を進めています。	建設部
12	50	①安全で快適な道路環境の整備	<p>①安全で快適な道路環境の整備 【追記】 ●未整備な側溝・水路の整備。（東西のインフラギャップ、側溝に落下する危険があるため） ●歩きやすいスリット式側溝に順次切替。<理由>1. 下水道が普及してくるとスリット式が可能と考える。2. 側溝のふたの上を歩くのは高齢者にとってはつらい。 ●歩行者が路肩を通行できる外側線<理由>1. 車が通行し易いように外側線が引かれているところがある。歩行者が歩行するには路肩が狭い。2. 車優先から歩行者優先にすべきと考える。</p>	④事業実施の中で検討します。	未整備の側溝や水路についての、具体的な整備箇所や整備順序については、自治会を通して提出された要望を踏まえて、決めています。	建設部
13	50	①安全で快適な道路環境の整備	<p>①安全で快適な道路環境の整備 ・主要施策名を「安全な歩行者環境の整備」にする。 ・この中に、自転車道の「サイクリングロード」の整備を入れる。 ②を追加し、「自動車道の機能分担及びハートフル運転区域」の設定をする。 ②を③「道路網の整備」にし、都市間道路（例えば、近隣市町への道づくり、川の道づくり、鉄道沿線の道など。） ④「生活道路」を追加し、地域の人たちで範囲を定めて、生活圏の一番小さい地域を決めルールをつくる。（住まいの道づくりとして） ・住まいの地域の道路の使い方を市民と協議しながら進めていきます。</p>	②計画に趣旨を反映します。	ご意見を踏まえ、内容を検討します。	建設部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部
14	50	②道路網の整備	<p><鉄道連続立体交差と交通量、まちの変化について> ○マイカーは減る時代に入り、渋滞が減ると考える。(鉄道の高架による渋滞解消は必要なくなる。) ○高架下があると、薄暗く、落書きや不法投棄などの犯罪が起きそう。 ○交通がよくなり、物流がよくなると、物流倉庫が増え、夜間人のいない地区ができて違法駐車や侵入・放火など、治安が悪くなるイメージがある。道路劣化が早くなる。 ○鉄道高架やリニアインパクトへの積極的な関わりにより、まちの景観が変わると、まちの変化に対応できず愛着をなくし協働に消極的になったり、移住したりする人が出る。これまで築いた郷土愛などへのマイナス影響が大きい。 ○今後顕著になる認知症の人にとって、「見覚えのないまち」は困惑の原因となる。線路がないと遠くへ徘徊しやすくなる。(線路がなくなれば踏切事故の心配は減るが、交通事故増加、他にも水路転落の不安が残る。そちらの対策も必要。) ○まちの変化により利便が良くなった地域では、地価が上がり住民税も上がるのではないか。 ○鉄道の高架は、震災により修繕が必要になる想定があるのか。</p> <p>【関連：P41 3-2 交通安全、P43 3-3 防犯、資料5 リニアインパクトに係る有識者ヒアリング P1~17、同P14 青山公三氏 ①自動車産業の衰退が予測される(シェアリングの話)、資料6 市民意識調査結果報告 P56 自由意見 2-4 生活道路「家の前の道路がラッシュ時間になると、家から出られず困っている。」、P58 自由意見 7 その他「現在のままがいい」「急な変化は望まない】</p>	<p>④事業実施の中で検討します。</p> <p>鉄道連続立体交差事業については、これまで有識者や市民の皆様と一緒に検討を進めており、鉄道を高架化していくことをまちづくり方針としてとりまとめています。鉄道の高架化による効果や必要な安全対策などについては、今後、事業の実施にあたり、詳細に検討するとともに市民の皆様へ情報提供していきます。</p>	建設部
15	50	②道路網の整備	<p>東西に抜ける幹線道路の整備が必要。(名鉄犬山線の高架化事業と関連)アクセスを改善し、都市機能の強化と快適な交通環境の確保が必要。現在の西春駅は、西・東のロータリーを併せ、10階建ての建物を造り、商業に、コミュニティホールに、また、役所、バスの発着場として利用する。また、新聞などによると昨今は道路の破損に起因する市民と行政とのトラブルもよく耳にするため、未然の防止策として市民から、町内会長を通じ、自治会からの通報体制の構築。</p>	<p>④事業実施の中で検討します。</p> <p>「東西に抜ける幹線道路の整備」や「都市機能の強化と快適な交通環境の確保」における基本的な考え方(方向性)は原案で示しています。具体的な施策については、総合計画を踏まえ、今年度から策定していく都市計画マスタープランの中で議論してまとめていくものと考えています。</p>	建設部
16	51	指標	<p>市民意識調査指標 3点目「お住まいの地域の道路は歩行者や自転車が安全に通行できる」と思っている市民の割合の現状値19.5%を、目標値60%まで強化していく。</p>	<p>②計画に趣旨を反映します。</p> <p>現状値19.5%からみると、2027年度の目標値30%は実現可能かつ妥当な数値と考えており、原案のとおりとさせていただきますが、目標値を上回るよう満足度の向上に向けた施策に一層取り組んでまいります。</p>	建設部
17	51	指標	<p>市民意識調査指標 3点目「お住まいの地域の道路は歩行者や自転車が安全に通行できる」と思っている市民の割合で、目標値が25%及び30%となっているが、資料1「序論」のP7「重要度と満足度の分布」では、「A：優先候補」、P15「基本構想」でめざすまちの姿「安全・安心に暮らせるまち」と表記されているので、2027年度の目標値が30%では低すぎる。(交通安全、防犯、防災も同様)</p>	<p>②計画に趣旨を反映します。</p> <p>現状値19.5%からみると、2027年度の目標値30%は実現可能かつ妥当な数値と考えており、原案のとおりとさせていただきますが、目標値を上回るよう満足度の向上に向けた施策に一層取り組んでまいります。</p>	建設部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
4-2 市街地・下水道						
18	53	全体	本市は、大字の区政の中で、自治会長からの報告による改善・整備をすることを徹底する必要があります。	④事業実施の中で検討します。	市土木行政の基本は自治会等といった地域との連携であると考えています。現在、自治会からの改善・整備の要望は順次進めているところであり、今後も、着実に進めていきます。	建設部
19	53	全体	・土地利用のイメージを示すこと ・緑と花・水辺公園に囲まれた居住環境をイメージした文言にしたい。 ・都市としての風格を備えるための景観整備とともに機能の充実のための施設整備につとめる。 ハートフルな中心地のあり方と人々の集まる広場空間の活用を考える。	④事業実施の中で検討します。	総合計画では、大きな視点から基本的な考え方（方向性）を示しているものであり、具体的な施策については、総合計画を踏まえ、今年度から策定していく都市計画マスタープランの中で議論してまとめていくものと考えています。	建設部
20	53	現状と課題	現状と課題 名鉄徳重・名古屋芸大駅周辺のまちづくりに関する概要とスケジュールについて今一度確認をお願いします。	④事業実施の中で検討します。	徳重・名古屋芸大駅周辺のまちづくりについては、既に具体的な調査検討を進めており、概要やスケジュール等については事業実施の中で検討・確認していきます。	建設部
21	53	現状と課題	現状と課題 1点目の「今後も定住人口を確保するために、良好な住宅地を形成していくことが求められている。」とあります。一方、資料5のP8「(3)リニア整備の効果を生かす・引き出すための条件や取組みについて」では「マンションの誘導が人口対策には有効」とする一部有識者の意見がありますが、あくまでもマンションではなく戸建住宅を中心に取組みを進めていくことが市としての方針であるということなのかお伺いします。	④事業実施の中で検討します。	土地利用に関する基本的な考え方は、第3編 基本計画の 第2章 土地利用方針（基本的考え方）のうち、1 暮らしやすく魅力ある土地利用（コンパクト&高質住宅地創出）の中で示しています。 具体的な施策については、総合計画を踏まえ、今年度から策定していく都市計画マスタープランの中で議論してまとめていくものと考えています。	建設部
22	53	現状と課題	現状と課題 定住人口を確保するために、良好な住宅地の形成とありますが、六ツ師大島地区の幹線道路筋では鉄骨工場・物流サービス会社が稼働中です。又、MRJ関連企業も進出と考えられ隣接地が準工業地区と拡大しつつあります。市街化区域・市街化調整区域の線引きがなされて、半世紀が経過しています。準工業地区・農地・住宅地の用途変更が見直され、インフラ整備、特に下水道完備の環境改善がまたれ定住化と人口の増加、電線の地下埋設等【健康快適都市】へより良い北名古屋市計画の考えは？	⑤既に計画に盛り込まれています。	良好な住宅地の形成に向けた方針は、第3編 基本計画の 第3章 分野別まちづくり方針 の(4)都市基盤分野の中で示しています。 なお、具体的な施策については、今年度から策定していく都市計画マスタープランの中で議論してまとめていくものと考えています。	建設部
23	54	②魅力ある都市基盤づくり	②魅力ある都市基盤づくり 【追記希望】 ●高品質な住宅地づくり<理由>1.住民税及び固定資産税を増収し、行政コスト負担軽減する。	⑤既に計画に盛り込まれています。	第3編 基本計画の 第2章 土地利用方針（基本的考え方）のうち、1 暮らしやすく魅力ある土地利用（コンパクト&高質住宅地創出）の中で、質の高い住宅地の創出を図ることと、記載しています。	建設部
24	54 61	③下水道整備の推進	集中豪雨対策として、民間の土地利用・宅地についても積極的に活用すべき。雨水浸透ますはじめ、貯留施設を設置した民間施設には税制面で優遇措置を図るなど。例えば、ドイツ等では、レインガーデン（雨水浸透緑地帯）の設置を推奨し、雨水浸透と緑化を推進している。	②計画に趣旨を反映します。	税制面の優遇措置として、雨水浸透阻害行為の義務として設置された雨水貯留浸透施設には固定資産税（焼却資産）の軽減措置はありますが、総合治水の観点から、民間による一時貯留の取組みを推進するためにも<主な取組>への反映を検討します。	建設部
25	54	③下水道整備の推進	③下水道整備の推進 主な取組「下水道の接続 義務化する 集合住宅は義務とする」	⑤既に計画に盛り込まれています。	下水道への接続については、下水道法で供用が開始された場合は遅滞なく排水設備を設置しなければならない。くみ取便所は3年以内に改造しなければならないとされており、接続の義務化は建物の種類によらず、すでにされています。大半の方は接続をされます。しかし、一部の方で未接続の状態があります。市といたしましては、未接続の方に理由や今後の対応について個別に対応を進めております。今後におきましても引き続き下水道への接続についてPRするとともに、接続の必要性を説明してまいります。	建設部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
4-3 公園・緑地・緑化・景観						
26	57	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「施策のめざすまちの姿」を「施策のめざす都市の姿」にする。 ・各地区の公園や小学校を中心に緑豊かなハートフルなシステムをつくる。 ・各地区の魅力づくりに利用でき、わがまちのシンボルとしての政策を各々作るようにする。 ・花のある環境は各住宅から。それぞれの花を育て、街路の景観をハートフルにする。 	②計画に趣旨を反映します。	<p>総合計画全体の構成や仕立ては統一したいため、原案のとおりとさせていただきます。</p> <p>(1点目の意見以外) ご意見を踏まえ、内容を検討します。</p>	建設部
27	57	現状と課題	<p>現状と課題 【文言修正】 都市公園の一人あたりの面積は極めて少ないことを前回通り入れるべきと考える。＜理由＞1.市民に現状を認識してもらうため。2.「健康・快適都市」の必須の命題である。</p>	②計画に趣旨を反映します。	現状と課題に、都市公園の一人あたりの面積が少ないことを記載します。	建設部
28	58	①魅力ある公園や緑地の整備	小規模な公園は市内にあるが、もう少し規模の大きめな中規模公園があった方がよい。周りを流れる河川敷を有効に使う。緑が多く、人が集まる場というものが人と人とのコミュニケーションを促進する。また、防災の面からも、公園は避難場所としても有効。大規模の公園には、雨水貯留施設と駐車場が必要です。	④事業実施の中で検討します。	迎島公園や鹿田坂巻水野公園等といった交流機能や避難・防災機能を備えた公園整備を進めてきています。 現在は、(仮称)鹿田中央公園の整備にも取り組んでおり、引き続き、公園整備に努めていきます。	建設部
29	58	①魅力ある公園や緑地の整備	街路樹の公共空間・合瀬川河川沿いの花木・緑・風の憩い空間を歩行者、車いす歩行者も安心して出かけられるバリアフリーの遊歩道(コッツ山公園～合瀬川に沿い～排水機場～中江川を上り～あいせの里～幹線道路(コンビニ)～コッツ山等)と子供・家族・高齢者が安全、安心して散策・遊歩ができる道の整備の考えは？	⑤既に計画に盛り込まれています。	河川空間の有効利用については4-4河川・雨水処理の中で魅力的な水辺環境の整備について盛り込まれており順次整備を進めています。	建設部
30	58	②公共空間・市街地の緑化の推進	<p>主要施策 現状で既に一定程度獲得している公共空間や緑地などの結節の視点がどこかに反映されていても良いのではと考えます。</p>	④事業実施の中で検討します。	ご意見をいただいた内容については、都市計画上の現況分析となるため、具体的な施策については、今年度から策定していく都市計画マスタープラン及び緑の基本計画の中で議論してまとめていくものと考えています。	建設部
31	58	③やすらぎある景観の形成	<p>③ やすらぎある景観の形成 「景観デザインのガイドライン」などルール作りは必要だが、「景観賞」など褒章事業を創設することによって、市民の景観意識を高めることも必要ではないか。</p>	④事業実施の中で検討します。	景観に関する褒章については、愛知県や社団法人の制度なども活用し、市民の景観意識を高める施策を事業実施の中で検討していきます。	建設部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
4-4 河川・雨水処理						
32	61	全体	河川整備と併せて水辺公園を造り、五条川、合瀬川の緑地を整備し、公園を造り、また、公衆トイレを作り、スポーツ・レクリエーションの場造り、雨水貯留地を造る。水辺の回廊による散歩道。案内板には、外国語と日本語を載せる。	④事業実施の中で検討します。	水辺公園や遊歩道および緑地の整備は、河川整備と併せて、順次、進めています。 今後も、河川改修事業と連携を取りながら、水辺の空間の有効利用を図っていきます。	建設部
33	61	全体	・河川への安心・安全を強化する。 ・河川ぞいの景観・親水性を増す。	⑤既に計画に盛り込まれています。	計画に趣旨は盛り込まれていると考えています。	建設部
34	62	①治水対策の推進	①治水対策の推進 P61の協働の考え方に市民の役割として「自宅において雨水の一時的な貯留」とあるが、主な取組のなかに入れていない理由。	②計画に趣旨を反映します。	雨水貯留施設設置に対して奨励金制度を設けていますが、一基当たり約2000という少量の貯留でもあり、取組みに入れてありませんでしたが、総合治水の観点から民間による一時貯留の取組みを推進するためにも、＜主な取組＞への反映を検討します。	建設部
35	62	①治水対策の推進	①治水対策の推進 既存宅地に対して雨水の一時貯留施設の研究と推進について追加してはいかがでしょうか。	②計画に趣旨を反映します。	雨水貯留施設設置に対して奨励金制度を設けていますが、一基当たり約2000という少量の貯留でもあり、取組みに入れてありませんでしたが、総合治水の観点から民間による一時貯留の取組みを推進するためにも、＜主な取組＞への反映を検討します。	建設部
36	62	②魅力的な水辺環境の整備	②魅力的な水辺環境の整備 河川遊歩道の整備とあるが、合瀬川ウォーキングコース（小牧山）が始まろうとしており、具体的に書いた方が良いでしょう。	⑤既に計画に盛り込まれています。	合瀬川遊歩道は、上流の小牧市との連携を図りながら、事業に取り組んでいます。 なお、河川の遊歩道については、河川改修にあわせて整備を実施することを考えていますので、原案のとおりとさせていただきます。	建設部
4-5 公共交通						
37	63	全体	公共交通の利用を進めることで「渋滞の緩和にもつながる」＝スムーズな移動になることの視点が欠けているように感じます。また、CO2の削減などについては「3-5 環境保全」にあげられていますので、上記の通り関連施策の表記を望みます。	③計画に盛り込むことは困難です。	関連施策については、当初設けることを検討しましたが、例えば、公共交通の関連する施策は、「健康・医療、地域福祉、子育て支援、高齢者福祉、障害者（児）福祉、社会保障、学校教育、生涯学習、防災・消防、交通安全、環境保全、道路基盤、市街地・下水道、商業・サービス業、コミュニティ・市民活動、多様な連携」があげられ、本質的な関連施策を詳細に説明した上で、列挙することができないことから、対応を見送りました。	防災環境部
38	63	全体	地域の発展に不可欠な要因のひとつに公共交通があります。人の移動手段として、まず、考えられる手段の原点は公共交通です。引き続きの充実を期待します。	④事業実施の中で検討します。	今後とも利用者のご意見に近づけ、利便性を高めるよう、効率化を図ってまいります。	防災環境部
39	63	全体	・交通手段の多様化に備え、設備面での充実をはかる。 ・若年者の安心安全な道環境のあり方を考えながら整備する。（通学路、散歩道など） ・高齢者が移動できるように、サポートシステムを充実し、健康維持のためのシルバーロード（健康トレーニング・文化的活動（俳句・絵画など）の拠点づくりを進める。	④事業実施の中で検討します。	63・64頁の施策は、主に市内循環バスを中心とした公共交通をテーマとしております。 道路環境については、50頁①「安全で快適な道路環境の整備」をご参照ください。	防災環境部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
40	63	現状と課題	現状と課題 3点目の「名鉄犬山線の西春駅を拠点に、…」とあります。西春駅の機能は記載のとおり重要であると考えますが、資料5のP11「(2)リニア整備に伴う具体的な効果・期待される効果について」では「駅の名前も西春から北名古屋と変えるのが良い」との一部有識者の意見があります。「北名古屋(市)駅」とすることで知名度向上に資するなど一定の評価はできる取組みと考えますが、市としての方針・考え方をお伺いします。	⑥その他	名鉄電車は公共交通機関ではございますが、民間企業であることから駅名の変更等につきましては、名古屋鉄道株式会社が決定するため困難です。貴重なご意見として承ります。	総務部
41	64	①市内交通の充実	きたバスの路線の見直し、最低、8本の運行路線とする。運行時間は、朝は6時から夜11時まで、延長することを検討。通勤者は、もちろん、少しの間隔であれば、高齢者の移動手段、又、就労の機会としても、きたバスの利用がとても重宝なものとなるのではないかと。	④事業実施の中で検討します。	バスの増車で、より細かい路線設定をすること、運行時間を延長することは、間違いなく利便性が高まるため、検討することは可能ですが、費用対効果を考えますと、現状では困難なため、将来への課題にさせていただきます。	防災環境部
42	64	①市内交通の充実	市内のコミュニティーバスは土曜日、日曜日に運行していません。又、一日一往復の直行の名古屋駅・栄までの運行の考えは？	④事業実施の中で検討します。	本市の循環バスは、祝日を除き月曜から土曜日まで運行しておりますが、日曜、祝日は、運行していません。 土曜日は、月曜から金曜までに比べ極端に利用者が減少し、日曜日や祝日はさらに利用が少ないと予想されますので、費用対効果の面から運行を考えておりません。 また、バス路線は1路線を1台のバスで運行しておりますので、市外への運行は、市内交通に支障が出ますので考えておりません。	防災環境部
43	64	①市内交通の充実	①市内交通の充実 主な取組「○民間交通等の活用」は説明文になく、意味不明	②計画に趣旨を反映します。	①市内交通の充実に「●民間交通の活用を図ります。」を、＜主な取組＞に「○地域公共交通としてのタクシーの利用」を追加します。 ※タクシーは法的に地域公共交通として位置づけされており、現在、事業者、愛知県、名古屋市及びその周辺市町村が参加する「名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会」にて地域公共交通としてのタクシーの利用について検討をしております。	防災環境部
44	64	①市内交通の充実	①市内交通の充実 1点目「利用者のニーズを踏まえて…」とあるが、日曜日にイベント等がある場合、特定路線の運行を希望する声が多くある。	③計画に盛り込むことは困難です。	市内循環バスは、路線バスとして運輸支局に認定されておりますので、イベントがあることでの運行はできません。 市が主催するイベントであれば、状況に合わせてシャトルバスを運行しています。 「利用者のニーズ」とは、路線やダイヤに関することとご理解願います。	防災環境部
45	64	②市外への交通アクセス	一宮市へのバスや鉄道利便性をはかれないか。リニアインパクトや既存のバス・駅に目が行き、名古屋や豊山との連携を考えがちであるが、一宮市の魅力を語る声もある。消防や商業、文化、高校、出自など、北名古屋市とのつながりも多い。「昭和末まで、西春と一宮をつなぐバスがあり便利だった」「中之郷辺りに駅がほしい」などの意見を聞いたことがあるので代弁しておく。	⑤既に計画に盛り込まれています。	市外への交通アクセスで広域的なバス路線の可能性を検討することとしておりますので、一宮市についても同様と考えます。	防災環境部
46	64	指標	取組指標 「市内循環バス利用者数」の増加のために、ふるさと納税の返礼品として年間バスや回数券を出してはどうか。 市外の人、市内の病院や資料館を訪れるためにバスを利用している。親兄弟への贈り物としても魅力を感じる。 【関連：資料6 市民意識調査結果報告 P56 自由意見 2-8公共交通】	③計画に盛り込むことは困難です。	回数券は、総務省からの通達で、金券になりうるとされており、ふるさと納税の返礼品にするには、現状では難しいものと考えています。	防災環境部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
5-1 農業						
47	65	全体	農業は、より高効率で付加価値の高い産業化の方向へ進化させるための施策が必要。周りに住環境が多いので、損なわないように、農業を維持することは大変です。農業の工場化を図り、効率の高い農業とする。いわゆる温室化を図る。この地域は、立地条件はよいので、採算のあう産業化を図ることができると思う。	⑤既に計画に盛り込まれています。	6次産業も含めて農産物の工場生産は必要と考えるが、地価、工場用地、採算等の条件面で企業等の進出が困難な状況である。受け身ではあるが機会があれば前向きに取り組みたい。	建設部
48	65	全体	・近郊都市農業の新しい姿をえがき、地域の魅力の1つである田園との融合をはかる。大都市における農業（花・ハーブ・果物など）への期待に応じ、連携して新しき農業・農園、ガーデン都市への歩みを進める。 ・生産と半加工・加工品づくりへの試みを進めるとともに、体験型のPRを進める。	⑤既に計画に盛り込まれています。	・田園風景との融合を図るには、6次産業化を含め近郊都市農業のあり方、将来像を検討する必要がある。新規就農者個人だけではなく企業等の参入により近郊都市農業の姿を形成することが重要と考えております。 ・二点目については、6次産業化として計画に入っている。	建設部
49	66	②農業生産の強化のための支援	「田園居住地域」が用途地域として、作られることを受け、現在の市街化区域内の低層住専などで、将来的に人口があまり増えないと見込まれる地区は、例えば、積極的に六次産業化や「農のあるライフスタイル」を推進していく特区とするなど。	④事業実施の中で検討します。	農地における基本的な考え方は、第3編 基本計画の 第2章 土地利用方針（基本的な考え方）のうち、4 都市と農地が共存する土地利用で示しています。 なお、具体的な土地利用計画については、今年度から策定していく都市計画マスタープランの中で議論してまとめていくものと考えています。	建設部
50	66	②農業生産の強化のための支援	②農業生産の強化のための支援 ・農業塾の開催には他都市を含む小中学生の農業体験は含まれているのか。 ・農産物のブランド化にはアウトレット店の活用が含まれているのか。	④事業実施の中で検討します。	・農業塾は小中学生の農業体験の場としていない。各学校において、農協、シルバー人材センター、父母の会等の協力を得て実施されている。 ・地産地消の観点で一部の農業者がアウトレットに農産物を出店している。今後ブランド化の取組みとして活用を図りたい。	建設部
51	66	指標	取組指標 「レジャー農園利用率」より「遊休農地の面積」を	③計画に盛り込むことは困難です。	本市の農業を考えると、大都市近郊の都市農業として農業体験型農業も重視している。よって「農業体験の機会の充実」を指標としたい。	建設部
52	66 68 70	指標	取組指標 ピンポイントの数値より、指定統計など各種統計の利用を。	⑥その他	「取組指標」は、市が各種事業を実施していく中で把握している数値で、「市民意識調査指標」と併せて、「施策がめざすべきまちの姿」にどれくらい近づいたのかの進捗状況を多角的に把握するために、身近で分かりやすい指標としております。	総務部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
5-2 商業・サービス業						
53	67	全体	<p>駅前地区の商業活性化策として、駅周辺を特区に指定し、商業地域であるので、住宅の建築は差し控えていただき、専用住宅の使用を控えていただく。空き店舗・空き家を市へ報告し、この町の活性化のために、業種を選定し、有効利用を図る。地下は、市営駐車場とする。空き家・空き店舗へのテナントの入居には、今の賃料水準では自己所有の店舗との競争では不利となるので、競争できる水準まで下げることが必要。又、市が一括で安く、借り入れ、まちの活性化を図る。テナントへの助成金と大家へのインセンティブによる賃料の引き下げ効果を高める等の施策を打ち出すことも検討する必要があるか？</p> <p>来市者の宿泊施設が必要です。60人～100人規模のレセプション施設が必要。また、北名古屋市を訪れる市のイベントなどでみえる、大切なお客様の泊まる場所がない。また、イベントのできる場がない。これら魅力ある街づくりを構成し、テナントの呼び水とし、人が魅力ある街と認知できる場所まで引き上げるための継続的な対策が必要です。このまちへ来ていただいて、そのままお帰りでは、来た人も迎える人もとても残念です。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>総合計画では、大きな視点から基本的な考え方（方向性）を示しているものであり、具体的な施策については、総合計画を踏まえ、今年度から策定していく都市計画マスタープランの中で議論してまとめていくものと考えています。</p>	建設部
54	67	協働の考え方	<p>協働の考え方 先のご説明の中で「高齢者」の話題があがっておりましたが、このことは「高齢者に利便性と魅力ある店舗等」の充実によって「高齢者ドライバーによる危険回避」、「公共交通の充実指針」などと深く関係する内容だと思っておりますので、その関係性についての確認も有意義かと思っております。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>商店街の「高齢者に利便性と魅力ある店舗等」の充実、まさに商店街への集客への最大の魅力であり、商店街の活性化・存続にもつながる重要課題といえます。商店街は集客のための魅力づくりに努力をされているものの、後継者の不在や店主の高齢化に伴う閉店により、店舗が減少し、利用者が減っているのが現状です。防犯灯改修や道路等改修など商店街を取り巻く周辺環境等の改善により利便性を図り、高齢者の方にやさしい商店街への充実を図って参ります。</p> <p>高齢者、交通弱者等の移動手段も運行目的である市内循環バスです。関係部署と協議を行い、更なる充実を図ってまいります。</p>	建設部 防災環境部
55	67	現状と課題	<p>現状と課題 6点目の「後継者不足による廃業の増加の対策に向けた効果的な取組を促進する」とありますが、具体的にどのような施策を講じることになるのかお伺いします。（資料2のP7「(5)産業活力分野」にも「後継者育成を図る」との記載がありますので、市としてお考えの具体的な施策をご教示ください。）</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>課題であるため、具体的な施策については、中小零細企業とのつながりが強い商工会と連携し検討して参ります。</p>	建設部
56	68	①暮らしに役立つ中小商業の発展	<p>①暮らしに役立つ中小商業の発展 1点目に「中小商業者の経営安定や創業支援を図ります。」とあり、＜主な取組＞として「創業支援」となっています。「創業支援を図ります」とするのであれば、主な取組みはより具体的な施策を記載すべきと考えます。（例：創業支援機関や金融機関との連携）</p>	①計画に盛り込みます。	<p>具体的な施策を記載します。 「2市1町の行政、商工会、各市町内の金融機関との連携による創業支援」</p>	建設部
57	68	②にぎわいのある商店街づくり	<p>②にぎわいのある商店街づくり 有名店の誘致ができるかが課題ではないかと考える。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>商店街内の閉店が進む中、有名店の誘致は、魅力のある店づくりの方法として、商店街活性化には有効であると思われ、空き店舗対策と同様に商工会と連携を図ります。</p>	建設部
58	68	②にぎわいのある商店街づくり	<p>②にぎわいのある商店街づくり 2点目に「商店街の空き店舗対策を図ります。」とありますが、具体的にはどのようなことに取り組まれるのかお伺いします。ちなみに、市による家賃補助はもちろん必要であると考えますが、この他、例えば、地元の教育機関（名古屋芸術大学等）と商店街が連携して空き店舗を活用したイベントや常設店舗設置などを市がサポートするといった仕組みづくり（産学官連携）や、清須市のように宅建協会など専門事業者（団体）と連携していく方法もあると考えますが、市としての方針・考え方をお伺いします。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>名古屋芸術大学とは、北名古屋市、北名古屋市商工会それぞれが連携協定を結んでおり、具体的な施策については、今後三者により検討をして参ります。</p>	建設部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部
5-3 工業					
59	69	全体	地元企業が活躍できるよう市全体で協力・協調する。地域の企業の繁栄なくしての市の繁栄無し。活力の源は工業も極めて重要と考えます。	⑤既に計画に盛り込まれています。	建設部
60	69	全体	北名古屋市の用途地域の変更、特に商業地域を増やすこと。これは、北名古屋市民8万5千人の住環境にとっても、必要なことです。また、商業も含めて、新商品・新製品の開発やその販路の開拓は企業にとって、売上げの増加、利益の確保に不可欠といっても過言ではありません。 現在、新商品の開発や商品PR、イベント、展示会への出展などへの支援をしています。そのような場造りを造りたい。(商工会への支援。創業支援。)また、現在は、スピードが速い時代のため、西春駅へ最も早く行けるルート(西春駅から東・西3本つつ、6ルートのピストン運行とし、旧師勝・旧西春を右回り、左回りとする2ルートとする。きたバスを運行する。その停車場は、商業地域とする。人が交流できる場造りをつくる。ルート数が少なくなれば、その停留所まで、歩いてこなくてはなりません。その分、本数が増えるので、待ち時間がなくなります。いつ来ても、少ししか待たないで乗ることが可能です。又、人の往来が増えますので、生活必需品、或いは、談笑の場となります。	④事業実施の中で検討します。	建設部 防災環境部
61	69	全体	新しい職業分野の支援を積極的におこなう。職住近接のための駅周辺でのオフィス化につとめる。(とくに女性・男性の子育て、高齢者との同居にとっては通勤距離は短く、快適なオフィスを提供できるように支援する。)	④事業実施の中で検討します。	建設部
62	69	現状と課題	現状と課題において、5点目「●出産・育児で…」のところに関して、離職者だけでなく、働き続けてもらう工夫や配慮も求められています。労働力の確保の点で、避けてはいけない視点だと考えます。	①計画に盛り込みます。	建設部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
3-1 防災・消防						
1	37	現状と課題	<p><自主防災会と防災リーダー研修について></p> <p>・自主防災会は自治会の役員が兼任しており自治会の役員の任期は1～2年が一般的である。また、防災リーダー講座は数回受講しないと身に付かないと思います。(鹿田の自治会は2名参加しているが、1回受講するまでには、23の町内会があり、1通り受講するだけで12年もかかってしまい、あまり効果が期待できないと思う。他の自治会も同様と考える)</p> <p>大変困難だと思いますが、自主防災会は独立した組織にしないと機能しないと考えます。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>防災リーダー養成講習会は、受講により地域における防災リーダーになっていただくことを期待して実施しておりますが、中々期待どおりになっていないのが現状です。</p> <p>また、自主防災会のあり様は、ご意見のとおりと考えますが、自治会によっては、役員イコール自主防災会ではない団体もあると聞いておりますので、市としては、各自主防災会の実態を把握しつつ、自助共助の思想を普及したいと考えます。</p>	防災環境部
2	37	全体	<p>2000年の東海豪雨被害で新しく中江川排水機場が新設されました。しかし新川の水位が上がり排水機場の排水が不能の際は住民への対応は？</p>	⑥その他	<p>中江川排水機場の排水を停止しなければならない水位は、新川上流で5.2mと、避難判断水位の4.4mよりも高いため、市は、排水停止以前から避難所の開設を行うとともに関係地域の市民に避難準備情報等を発する判断をすることになります。</p>	防災環境部
3	38	全体	<p>HUG (Hinanzyo Unei Game : 避難所運営ゲーム) を市民全員に体験してほしい。</p> <p>大規模災害のとき、どれが正解か・意見集約がどれだけ大変か疑似体験できる。実情への配慮ができるようになる。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>防災訓練等で周知・認知を図り、地域の防災訓練の場においても提案し、体験者を増やしていくよう、努めます。</p>	防災環境部
4	38	全体	<p>避難先となる学内にクローク(個人備蓄スペース)がほしい。</p> <p>体育館倉庫に下駄箱サイズの棚でいいので、各個人用に「500mlのペットボトル、薄い毛布、書込票」を入れておく。半日凌げればよい(職員が来るまで)。</p> <p>自主防災会の際などに、各個人が棚の自分用スペースを確認し、500mlのペットボトルは好みのお茶に替えてもいい。常備薬を一緒に入れておいてもいい。(ただし、紛失しても構わない程度のもの。)</p> <p>日頃の備えとして、避難場所の確認と、事のあったときに職員や自治会長なしでも間に合う様に。また、書込票を各個人が記入して待機することにより、その後の避難所運営を手際良いものにする。</p> <p>各小学校、中学校等における避難想定人数を行政や自治会が把握しやすい。</p> <p>誰が見ても、備蓄に数があり、避難所に来てはじめての数時間をどう過ごせば良いか分かる。(備蓄は他人分まで手を出してはいけない、備蓄の有無により親族や友人がその避難所に到着したかどうか判断できるしくみ。)</p> <p>外出先などから直接避難所へ向かった場合(非常持出袋が持って行けなかった場合)にも、最低限の飲料と暖があれば救いになる。</p>	③計画に盛り込むことは困難です。	<p>学校内に避難者個々のスペースの確保をすることは困難と考えますが、ご提案の内容について、事例等がございましたら、今後の参考にさせていただきます。</p>	防災環境部
5	38	①地域防災力の強化	<p>主な取組に消防団関係がない。</p>	①計画に盛り込みます。	<p>①地域防災力の強化の1つ目の●を「消防団組織の充実に取り組みます。」に修正し、<主な取組>の最初に「消防団員の確保と活動の充実」を追加します。</p>	防災環境部
6	38	①地域防災力の強化	<p>P37<現状と課題>の4つ目の●に「無料の・・・進んでいない・・・重要です。」とあるが、それを解決するための施策が<主要施策>に「促進します」としかないが、他の施策に比べて内容が弱い。「講演やセミナーを通じて必要性を共有、啓蒙」など一歩踏み込んだ記載でもいいのではないか。</p>	②計画に趣旨を反映します。	<p>①地域防災力の強化の表現は、そのままとし、<主な取組>にある「住宅の耐震化、シェルター設置の支援」との記載を「住宅の耐震化、シェルター設置支援のための無料相談会、個別訪問などの実施」に改めます。</p>	建設部と調整

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部
7	38	①地域防災力の強化	<p>①地域防災力の強化 自主防災と自治会との連携強化 防災リーダーの自治会組織との連携</p> <p>大規模災害時の避難に関して スマホでの広報・避難所マップ 何処へ避難するのか自宅から安全な経路は。 避難者の把握と救援物資の配布に関しての自治会、町内会の関わり方をはっきりさせる</p>	<p>④事業実施の中で検討します。</p> <p>自主防災会は、自治会内で組織され、市からの支援も自治会を通じて実施しておりますので、当然に連携は取れていると考えますが、市が期待する自主防災会は、自治会とは異なり継続的に地域の防災を担っていただける方々で構成される組織です。 市としては、今後、各自主防災会の実態を把握しながら、組織の強化を呼びかけてまいります。 防災リーダーにつきましても講習会を受講された皆様に地域での活躍をお願いしておりますが、さらに啓発に努めます。</p> <p>大規模災害時の避難に関して 情報入手には、同報無線以外に市の情報を高度情報ネットワークからテレビやラジオ、インターネットなどに流れたものを見る方法のほか、取組指標にある防災ホットメールの登録を事前にさせていただく方法もあります。 避難所の位置はハザードマップに記載がありますが、避難所までの安全な経路は、平時に市民自ら確認していただく必要があります。 避難所の運営等に関しては、発災直後の行政主体から徐々に避難者主体に移行することになりますので、その過程で自治会の関わりはあると考えます。</p>	防災環境部
8	38	①地域防災力の強化	<p>防災訓練も自治会役員のみ参加が多いように思う。家族ぐるみの参加を考えた方が良いかも。</p>	<p>④事業実施の中で検討します。</p> <p>市が主催する訓練の参加者については、自主防災会でお決めいただいておりますが、今後は、ご意見のようなことをご提案したいと考えます。</p>	防災環境部
9	38	②大規模災害に備えた施設整備	<p>防災情報の市民への伝達（あるいは市民との共有）という項目も必要ではないか（情報ネットワークなど）。</p>	<p>⑤既に計画に盛り込まれています。</p> <p>ここでは、避難場所など、防災関連施設の整備に関する施策の記載をしております。 市民への情報伝達については、①の地域防災力の強化でお示ししております。</p>	防災環境部
10	38	②大規模災害に備えた施設整備	<p>「消防拠点」の定義は狭義、広義がある。「ドーム周辺の消防拠点」とは何か。</p>	<p>⑥その他</p> <p>地域防災計画で、災害救護拠点の健康ドームと災害医療拠点の済衆館病院とが一体となって形成するものと位置づけております。</p>	防災環境部
3-2 交通安全					
11	41	現状と課題	<p>1 番目●市民の交通事故の被害者や加害者にならないために…被害者（交通弱者）と加害者と同列に見ている。前回の総合計画の文言を支持する。</p>	<p>⑥その他</p> <p>第1次総合計画では、被害者の安全確保しか触れておりませんが、今回の計画では、被害者と加害者両面からの交通安全について、記載いたしましたので、文言の変更はいたしません。</p>	防災環境部
12	42	全体	<p>交通事故の減少を目指しているが、「鉄道連続立体交差」などにより車の往来が増えると、必然的に交通事故が増えるのではないかと危惧している。 危険性も鑑みながら、舵取りを考えるべき。 (関連p. 49～51 4-1 道路基盤)</p>	<p>⑥その他</p> <p>事故を誘発する要因は、鉄道の立体化だけでなく、道路整備や住宅建設など、市街地形成の過程で発生します。 3-2の交通安全は、これら要因があるなか、一般的な交通安全思想の普及と交通安全施設の整備による施策を記載しております。</p>	防災環境部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性		担当部
13	42	②交通安全環境の向上	②交通安全環境の向上 〈主な取組〉 危険な歩道の整備 自転車道をつくる	⑥その他	ここでは、道路反射鏡やカラー舗装などによる施策を記載しております。 歩道の整備については、50ページ①「安全で快適な道路環境の整備」ご参照ください。 自転車道につきましては、道路の拡幅を伴いますので、駅周辺開発等の大規模な整備に合わせて検討していきます。	防災環境部
14	42	市民意識調査指標	P42の〈満足度〉目標値が25%→30%となっているが、ピンクの資料1のp7で「優先候補」p15で「安全・安心に暮らせるまち」と表記されているので、目標値が30%では低すぎる。	⑥その他	北名古屋市は主要道路が縦横に走る都市で、その特性が意識調査の満足度の低さに表れていると考えており、今後の交通安全施策の進捗により上向きを期待しますが、今回の調査結果を踏まえ、10年後に大きな上昇はないと考えて目標値を設定いたしました。 しかし、ご意見のとおり、市民意識調査結果では、交通安全の施策が優先して取り組むべき施策に該当していません。市民の満足度を高めるためには、ソフトとハードの両面からの取組が必要であるため、関連する施策の取組及び市民意識調査指標の目標値との整合を図り、再度検討します。	防災環境部
15	42	取組指標	「交通危険箇所数」を。	③計画に盛り込むことは困難です。	取組指標として、必要なものではないかと考えますが、西枇杷署に照会をしたところ、資料の提供はできないとの回答がありました。 しかし、交通事故の多い箇所は県道、国道といった交通量の多い交差点に集中していると考えられ、市道では市内全域で発生していると考えます。	防災環境部
3-3 防犯						
16	44	①地域の防犯力の向上	現状のパトロール頻度は少な過ぎて目立たない。活動を増やすには毎日歩いているウォーカーの活用が有効と考える。(旧師勝町の時はやっていた。) 当局は安全面で心配するかもしれないが、自己責任でやれば良い。	④事業実施の中で検討します。	ご意見の件は、防犯ボランティア団体の育成ということで、含まれているものとご理解をお願いします。	防災環境部
17	44	②防犯に向けた施設整備	防犯情報の市民への伝達(あるいは市民との共有)という項目も必要ではないか(情報ネットワークなど)。	⑤既に計画に盛り込まれています。	ここでは、防犯灯など、防犯関連施設の整備に関する施策の記載をしております。 市民への情報伝達については、①の地域の防犯力の向上でお示ししております。	防災環境部
18	44	市民意識調査指標	P44の〈満足度〉目標値が25%→30%となっているが、ピンクの資料1のp7で「優先候補」p15で「安全・安心に暮らせるまち」と表記されているので、目標値が30%では低すぎる。	⑥その他	取組指標の犯罪発生件数の目標値を過去の増減要因の予測から、60件程の減少とし、この値から満足度を予想しておりますので、それに比例するものと仮定して大きな上昇はないと考えて目標値を設定いたしました。 目標値の修正に対するご意見について、市民意識調査結果では、「犯罪の心配を解消すること」が、優先して取り組むべき施策に該当しているため、「3-3防犯」の施策に紐づく取組指標の目標値を検討するとともに、市民意識調査指標の「お住まいの地域は犯罪の心配が少ない」の目標値を再考します。	防災環境部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
19	44	取組指標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査指標<満足度>「お住いの地域は犯罪の心配が少ない」と思っている市民の割合について、目標値が上がる様に記載されているが、犯罪に対しては危機感を持つべきである。（「心配が少ない」と回答した人は対策不十分の可能性がある。） ・取組指標 犯罪発生件数について、目標値を950件（2022年）・940件（2027年）とした理由などあれば知りたい。実現可能な具体的数値と考えてのことと思われるが、目標値なので、もう少し減らせないものか。また、この数値は被害届けが出された件数と捉えてよいか。 	⑥その他	<p>犯罪の心配が少ないと思われることが必ずしも危機感がないということに繋がらないと考えます。</p> <p>犯罪対策には、警察だけでなく、市の防犯協会や防犯ボランティア団体の皆様などの活動があり、その力を結集して犯罪件数を減少させ、市民の安心度を得たいというものです。</p> <p>数値につきましては、被害届出件数です。</p> <p>目標数値については、過去の増減要因の将来予想から算出した値を防犯施策からの期待値から下方修正して設定いたしました。</p> <p>目標値の修正に対するご意見について、市民意識調査結果では、「犯罪の心配を解消すること」が、優先して取り組むべき施策に該当しているため、「3-3防犯」の施策に紐づく取組指標の目標値を再考します。</p>	防災環境部
3-4 ごみ処理・資源循環						
20	46	全体	生活ゴミの減量に努めていますが、生活ゴミの集積場所が他の地区では、自宅・集合住宅等の前に置かれています。大島地区の6軒は集積場所へ現在持ち込んでいます。高齢化とゴミが重い、離れている（120メートル）程で自宅前まで取りに来てもらえるような考えは？	④事業実施の中で検討します。	市内各所の道路幅員が異なるため、原則、道路幅員が広い場合には集積場所を設定し、道路幅員が狭く交通の支障になる等の場合に限り、自宅前の収集方法により実施しています。	防災環境部
21	46	①循環型社会の形成	「回収ボックス」って何？	②計画に趣旨を反映します。	「小型家電回収ボックス」に訂正します。	防災環境部
22	46	①循環型社会の形成	ごみを減らす工夫を「生活アドバイザー」などの外部講師によるセミナー等を通じて啓蒙してはどうか。	④事業実施の中で検討します。	ごみを出さない料理教室を環境団体の「生活環境美化スタッフ」が年4回開催しており、その中でごみ減量についての取組を行っております。	防災環境部
23	46	①循環型社会の形成	資源ゴミは町内会の収入となるので自治会の一層協力要請すべきと思う。	④事業実施の中で検討します。	資源回収量に応じて、自治会へ還元金として補助しています。資源回収は、ごみ減量を目的として、今後も持続可能な循環型社会を目指し自治会等への協力を求めます。	防災環境部
24	46	②廃棄物の適正処理の推進	事業系廃棄物や産業廃棄物の減量化・適正処理の主な施策は？	④事業実施の中で検討します。	現在も事業所による廃棄物の分別は徹底できていると考えております。また、有機性生ごみとし尿泥を混ぜた堆肥を鴨田コンポストとして無料配布し生ごみの減量化を推進しています。	防災環境部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
3-5 環境保全						
25	48	①環境保全活動の推進	<ごみ0運動のマナー化>町内会の周辺はほとんどないため子どもたちを連れてゴミ袋を持ってぞろぞろ歩いているだけの印象である。運動を持続するのであれば国道・県道とか田畑等ゴミのある場所でやった方が良いと思う。	④事業実施の中で検討します。	毎年5月の最終日曜日を「ごみゼロ運動の日」と定め、市民約1万人が参加しています。今後ごみゼロ運動を継続し、ポイ捨てがない快適な生活環境を持続させていきます。また、清掃活動に危険が生じないように配慮しながら拡大を検討します。	防災環境部
26	48	①環境保全活動の推進	「花の苗の配布」や「緑のカーテン」より大きな施策を。	④事業実施の中で検討します。	花の苗の配布は、環境団体へ春秋の年2回1,200株を配布し、環境美化活動の推進を図っています。 緑のカーテン事業は、市内50公共施設で緑のカーテンを設置するとともにコンテスト参加者にゴーヤ等の株を無料配布し、参加は、毎年80件程度となっております。今年度よりコンテスト方式とすることで、更なる参加者増加に取り組んでいます。	防災環境部
27	48	取組指標	「緑のカーテン」より「低公害車数」または「低燃費車数」を。	③計画に盛り込むことは困難です。	低公害車等は、国のエコカー減税があるため、市独自の補助制度は行っていないため、指標となる件数が把握できません。一方、緑のカーテン事業は、室温の緩和と省エネを身近に感じ、温室効果ガス削減に対する意識の高揚が図りやすいため今後も継続していくため、指標として採用することについてご理解をお願いします。	防災環境部
6-1 コミュニティ・市民活動						
28	71	現状と課題	<p>【追記希望】</p> <p>●市民意識の低下 <理由> 1. 高度成長期から低成長期に入り、所得格差が拡大し、中流層が少なくなり、低所得層＝無関心層。 2. 核家族化し、自分本位となっている。 3. アパート住民と戸建住民の接点がない。</p> <p>●自治会の規模の格差があり過ぎる。 <理由> 1. 西地区に21、東地区に11合計32の自治会がある。 2. 鹿田自治会：山之腰自治会 鹿田自治会は下に23の町内会があり、1つの町内会の規模と山之腰自治会と同程度である。</p>	②計画に趣旨を反映します。	趣旨を反映して、 ●豊かさの価値観や家族形態の変化により、地域コミュニティへの関心が下がり、地域住民の繋がりが希薄化しているため、地域コミュニティへの参加者が減少しています。を追記します。 追記はしませんが、自治会規模の格差についての検討は、自治会の再編だけの対策ではなく、地域の経緯などにも配慮して取り組む必要があります。 自治会のあり方と自治会の規模、地域活動との相互連携と地域活動規模を含めて検討し、子どもから大人までが幸せに生活するためのコミュニティづくりに地域とともに取り組みます。	総務部
29	71	現状と課題	p71の現状と課題4つめの●に組織の高齢化や加入者の減少とあるが、一方では地域デビューをしたくてもできない人もいます。人手不足が深刻な自治会活動や市民活動の一覧があれば、アクセスしやすくなるので、マッチングの仕組みが必要である。	④事業実施の中で検討します。	多様な人や団体が参加できる交流会や「協働カフェ」の実施、ホームページ等での活動等の情報発信により推進していきます。	総務部
30	71	現状と課題	7つめの●に若年層の参加促進とあるが、成人式等で市民活動の大切さを理解してもらうとともに、自分の生活の中のできる範囲で無理せず活動できる個人ボランティアも社会福祉協議会では登録制度があることなどを説明し、登録希望用紙を配布する。	④事業実施の中で検討します。	いただきました意見は、主要施策としての記述は行わず、具体的取組の参考とさせていただきます。	総務部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
31	71	現状と課題	<p>・「若年層の参加促進」とあるが、仕事の残業が多すぎるなど、県や国レベルで対処すべき場合もある。</p> <p>例えば、夜7時からの活動でも参加申込みを躊躇してしまう（終業時刻が上司次第）、物理的に行けない（職場と居住地に距離があり移動に時間を費やしてしまう）、翌日への影響が心配（休日は休養をとらないと体を壊す）など。私自身の3年前が上記の通りであり、学生時から続けていたボランティア活動を中断せざるを得ない状態であった。</p> <p>若年層は、学生時の体験から地域活動や市民活動の大切さや楽しさを知っているはず。しかし、仕事や家庭に追われて活躍のチャンスを逃していると思われる。</p> <p>市内で参加促進のために何かできるとすれば、せめて市内にある企業だけは夕方5時帰宅をよしとする様に、働きかけてみるくらいではないか。</p> <p>（関連p. 86 6-5 多様な連携 主要施策①大学・企業との連携）</p>	②計画に趣旨を反映します。	<p>企業へのワーク・ライフ・バランス等の働きかけについては、男女共同参画にも関わることから、第3章6-2人権・共生・男女共同参画についての主要施策③男女共同参画の推進の中で、家庭、事業所等のワーク・ライフ・バランスの促進として盛り込んでおり、啓発等を推進していきます。</p>	総務部
32	72	①地域コミュニティ活動の推進	自治会長損害保険の加入促進とはどういうことか。	⑥その他	<p>地域コミュニティ活動を推進する際、市民の地域活動への不安を少しでも減らすため、自治会活動中における事故に備える損害保険の加入を行います。</p> <p>「自治会・・・自治会長損害保険の加入」とします。</p>	総務部
33	72	①地域コミュニティ活動の推進 ③市民協働の推進	「地域コミュニティ」と「自治会」は同じか。説明文はコミュニティ、主な取組は「自治会」と不統一。	⑥その他	<p>「地域コミュニティ」はほぼ自治会を示しますが、校区スポーツクラブや協働隊のような地域団体を含めて、説明文では「地域コミュニティ」としています。主な取組は、具体的な事業名となっているので、「自治会」としていません。</p>	総務部
34	72	②市民活動団体の育成	p72の②市民活動団体の育成の表記を市民活動団体及び個人の育成とする。	⑥その他	<p>②表題についてはそのまま市民活動団体の育成とし、主な取組などの中で、団体の担い手等個人の育成も含んだ内容としています。</p>	総務部

No.	ページ番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部
35	72	④地域自治の充実	<p>④地域自治の充実 〈主な取組〉 自治会を小学校単位で構成するよう推進する 自治会は、防災・地域防犯・自主消防・水防・災害時の避難・環境・どぶの清掃・健康・交通安全・社会福祉活動・団体の育成助成・各種委員の推薦・夏祭りなどの楽しみ等、その他、実にさまざまな活動をされており。 しかし、現在の自治会は、旧大字区からのままで構成されているため、面積、世帯数、人口の差が非常に大きく、地域の市民の受けるサービスにも格差が生じてきます。災害時に同じ小学校に避難しても、複数の自治会の人があり、受ける救援にも差が出てくる心配もあります。この格差が、平時の市民の生活の面から受けるサービスの格差を感じるようになります。 この格差を是正し、より効率よい行政組織とするには、小学校単位の自治会にするほうが良いと思います。 北名古屋市の小学校（10校）単位で自治会に再編成し、10の自治会とすれば、より平等な、効率的に行政のサービスを行える自治会を組織となり、北名古屋市としての市らしい形になると思います。 そして、市の仕事を移行できることも沢山あると思います。 福祉、防災、防犯、ゴミ処理、地区の祭り、教育、学校行事と組み合わせた地域の交流地域のコミュニティーの発達により、行政が決め細やかに地域に届くようになる。地域内の交流融和が良くなる、安全安心健全な明るいまちとなる。 各自治会毎にコミュニティーセンターの設立をする。地域に集会所のないところは、学校を使えるようにし、現在のものを利用して利用する。</p> <p>25ページ④地域とともにある学校づくり 〈主な取組〉○コミュニティースクール も自治会単位で行える 政教分離の建前から、自治会と神社は切り離して運営する。</p>	<p>④事業実施の中で検討します。</p> <p>主な取組としての追加は行いませんが、主要施策にある地域自治組織の検討は、小学校区の組織体を含む検討としています。 現在ある自治会の再編成だけでなく、自治会の今までの歴史にも配慮した形で地域・市民と一緒に取り組んでいきたいと考えています。 また、そのため、コミュニティースクールを始めとする様々な活動や地域における相互連携により創られる学校区活動を支援していきます。 各自治会ごとのコミュニティーセンターの設立については、地域自治組織単位で財政状況等も含めて検討します。</p>	総務部
36	73	施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの	「自治会加入率」を。	<p>⑤既に計画に盛り込まれています。</p> <p>自治会加入率を上げる取組は続けるものの、自治会員の地域活動への参加率や市民活動への参加率を指標にすることで、実際の活動に関わる人口を増やすことを指標にします。</p>	総務部
37	73	目標値	「市民との協働」を目指す割には、設定目標値が低いのではないかと。	<p>①計画に盛り込みます。</p> <p>市民意識の醸成には時間がかかるため、段階的な計画が必要だと感じており、現状値からの最低限の目標値として設定しました。しかし、ご意見のとおり、市民との協働というめざすまちの姿に近づくための努力目標として、「自治会活動に参加している」市民の割合を2027年度は40パーセントに、「ボランティアやNPOなど市民活動グループで活動している」市民の割合を2027年度は15パーセントに修正し、「あなたのお住まいの地域は自治会活動が盛んである」と思っている市民の割合を30パーセント（2022年度）、40パーセント（2027年度）に、「北名古屋はボランティアやNPOの活動が盛んであると思っている市民の割合を20パーセント（2022年度）、25%（2027年度）に修正します。</p>	総務部
6-2 人権・共生・男女共同参画					
38	76	②多文化共生の推進	<p>多文化共生という項目ではあるがこの内容は海外との交流と読める。本来「多文化」というと国内での他地域の文化も含まれるのではないかと。「地域間交流」などの視点も必要ではないかと。</p>	<p>①計画に盛り込みます。</p> <p>主要施策②多文化共生の推進2つ目の●の「国際交流の機会」を「国際交流・地域間交流の機会」に修正します。</p>	総務部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
6-3 広報広聴・情報管理						
39	80	全体	<p>市内の地図コーナーがほしい。 市内で公けに出されている、ウォーキングマップ（公園・花・寺・文化財・彫刻など）、食事処・手みやげ店舗紹介地図、ハザードマップ（東海豪雨記録やAED設置店舗）、医療・介護施設マップなど、多種多様な地図を一度に見ることができ、発行元（どこで入手できるか）がわかり、コピーもできるコーナーがあると便利。 著作権のない白地図も配っていただけると、市民活動用に自由に書き込めてよい。また、その白地図を使用して作成したマップも収集対象としていただきたい。 協働の1つのかたちであり、長期間残すことで郷土の記録として価値も高まる。 実体として、市民活動推進課内や図書館のレファレンスコーナーに保管する。又は、インターネット上にpdfでダウンロードできる方法もよい。 （関連p.28 2-2 生涯学習 主要施策②生涯学習の基盤整備 2つめの黒丸「図書館の機能の多様化」、p.72 6-1 コミュニティ・市民活動 主要施策③市民協働の推進）</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>市が発信する市政情報をどのような方法で市民に伝えていくかは重要ですが、一方で、市民がどのような情報を求めているかを把握し、市民生活に必要な情報としてどのような形で提供していけるかも大切であると考えます。社会的に情報伝達手段が発展変化していく中、どのような伝達手段が有効かを検討します。</p>	総務部
40	80	全体	<p>市のあらゆる施設で Wi-Fi など市民がインターネットが利用できるようにし、スマホなどで防災に限らずいろいろな情報サービスが受けられるようにする安全安心健康快適な環境とする。</p>	④事業実施の中で検討します。	<p>現在、国においては、マイナンバー制度におけるマイナポータル機能の中に、これまでの広報やホームページ等に加え、子育てに関する情報を、その情報をその時点で必要としている方のスマホ等へ、直接、お知らせするシステムの開発を計画的に進めており、本市においても、その取組の実現に向けた準備作業を行っているところです。 また、Wi-Fi環境につきましては、通常時の管理に検討を要する課題があると考えていることから、現在は、優先順位の高い非常時における避難所での利用を可能とする環境の整備を図っているところです。 今後も、電子自治体の推進の中で、これらの取組を計画的に実施してまいります。</p>	総務部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部
41	80	②情報化の推進と情報管理	I o T 社会への取組がない。	<p>⑤既に計画に盛り込まれています。</p> <p>現在のところ、I o T 技術の社会における身近な活用事例としては、車の自動走行、家電の遠隔操作、バスの運行状況のお知らせや様々なセンサー技術を活用した大量データに基づく行動パターンの分析等が挙げられますが、現状としては、個別分野に限られており、私たちの暮らしの中においては、まだ、十分に活用した必要不可欠な存在とはなっていません。</p> <p>このことから、本市では、現在のところ、この技術は、まだ、行政の取組としては、実験段階にあると考えており、この技術を取り入れた具体的な取組の実施については、時期尚早と判断しています。</p> <p>しかしながら、本市では、この技術は、人口減少社会を迎えているわが国や本市の今後の諸課題への取組に対し、無人化や省力化等が期待され、非常に大きな効果をもたらす可能性を持っていると理解しています。</p> <p>このため、この技術に対し、多くの関心があることを示すために、本計画における課題として、「I o T 社会の進展とそれに伴う課題への対応に努めます。」と記載いたしました。</p> <p>以上の理由から、ご意見のとおり、主な取組への記載はしていませんが、今後、情報システムの充実の取組の中で、この技術を活用した効果的な取組を具体化していきたいと考えております。</p> <p>【用語説明】 I o T (Internet of Things/モノのインターネット) とは、主にパソコンやサーバー、プリンター等の I T 関連機器が接続されていたインターネットに、それ以外の様々なモノをつなげる技術のこと。</p>	総務部
42	80	市民意識調査指標	広報・情報化とも今後ますます重要となってくるのだが、目標値が低いと思う。	<p>①計画に盛り込みます。</p> <p>広報紙については、市政情報をより分かりやすく伝えるべく 2017 年度に紙面のリニューアルを行いました。こういった試みを続けることにより、市民の 3 分の 2 が分かりやすく感じられるよう目標値を 2022 年度は 55%、2027 年度は 65% に修正します。</p>	総務部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
6-4 行政経営						
43	82	全体	未だに1000番台の地名が残る。地名変更または住居表示の実施を。 (関連p. 54)	④事業実施の中で検討します。	新たな地域コミュニティのあり方の検討や有効な土地利用・基盤整備を進めるなかで、実施について検討していきます。	総務部
44	82	全体	東図書館では、3階の資料館見学後に送迎バスを待つ団体見学者をよく見かけるが、図書館内に座席数が少ないために所在ない様子がある。逆手にとって（駐車スペースを確保してバス待ち解消するのではなく）、お土産店を作ってはどうか。 東庁舎の1階ロビーか食堂、総合体育館1階など、引率者の目が届きやすい（見学者と送迎バスの両方）、小さなブースでも座席数を多くとれたらよい。 資料館1階（図書館）から車いすや杖を突いて移動できるよう、図書館から続く道に歩道のカラー分けや雨避けが作れると尚よい。 売上げよりも、懐かしい味（駄菓子）や市内のマップ配付などにより、思い出を持ち帰ってもらう目的。 <展開>スペースが広くとれば、音楽を流したり、足踏みミシンや立て看板型の紙芝居（材質は紙でなく木製か金属製であり屋外設置できる：長野県小布施町内参考、写真2枚）を置いたりして、バス待ち時間解消・楽しい気分を語らせる場として使ってもらおう。 資料館内や加藤家（回想法センター）ともちがう雰囲気、飲食可の、地域住民のサロンの役割にもなる想定（見学者の語らい相手になる効果）。 (関連p. 13～15 1-4 高齢者福祉、p. 27～29 2-2 生涯学習、p. 63～64 4-5 公共交通、資料6 市民意識調査結果報告p. 58 自由意見、6-3 広報広聴・情報公開「情報発信施設をつくる」、資料7-1 市民ワークショップまとめ p. 8 第3回：市民ワークショップ教育 4つめの白丸「高齢者向けにも読み聞かせの読書会を」)	④事業実施の中で検討します。	歴史民俗資料館の効果的なPRと活用については、コストやスペースを勘案しながら、事業実施の中で検討します。	総務部

No.	ページ 番号	主要施策名	意見等	対応の方向性	担当部	
6-5 多様な連携						
45	86	①大学・企業との連携	優れた人材を登用するのが肝要、名芸大だけでなく他の大学、自治体、企業などを加える。	②計画に趣旨を反映します。	総務部	
46	86	①大学・企業との連携	<p>北名古屋市の恒久的な発展には、若者たちの活躍・定住による人口増加が不可欠の要素だと考えます。しかも、それは北名古屋市からの若者の人口流出をできる限り防ぐという消極的な方向ではジリ貧になる可能性が高い。むしろ、他県他市から北名古屋市に積極的に呼び寄せ、この地で就職を決め、結婚し、家庭をつくる（子供を持つ）、つまり定住する、この方向で上昇志向の政策を実施すべきだと考えます。まとめれば、北名古屋市が若者にとって魅力的な街に、より進化する必要性を感じます。</p> <p>さて、これを現実化する極めて有効な方策が一つ考えられます。北名古屋市に市立の大学を創設する。公立大学は、月謝が安いし、就職率も高いので、他県他市から若者が集まります。たとえば、市立の「金沢美術工業大学」では、金沢市に住民票を移せば、さらに月謝を安くするという条件を付帯して、人口増加を可能にしています（金沢市は過疎とは無縁です）。結果、入試倍率も高くなります（資料A参照）から、当然優秀な学生が集まり、就職率は100%突破も可能で、市内や隣接の名古屋市などへの勤務が始まれば、前述のとおり北名古屋市での社会人生活が始まります。</p> <p>ただ今から北名古屋市が独自に大学を創るのは、土地の買収、建物の建築、文科省との交渉などの困難が予想されます。そこで、現実的な第二の方策を提案致します。</p> <p>現在北名古屋市内には、大学が一校実在しています。私立の「名古屋芸術大学」です。「芸術学部」と「人間発達学部」（教育者を育成する）を持っています。が、両学部とも残念ながら定員を満たしていません。文科省の表に出していない指針を知っておりますが、それは「2030年以降は、私立の芸術系大学は都道府県に一大学でよい」という方針です。つまり、二番目以降の芸術大学は助けない、潰れるならば潰れても仕方がない、自然淘汰に任せるという経費削減方策です。このため、たとえば「名古屋造形大学」は不便な今の立地場所から、利便性の高い名城公園東の「大学の街」に移転する予定で2030年問題を乗り切ろうとしております（資料B参照）。しかし、「名古屋芸術大学」には、これほどの抜本的な大改革案は存在しません。「名古屋芸術大学」の十年後の悪戦苦闘が簡単に予測されます。つまり、最悪のケースとしては、北名古屋市から大学が消滅する、北名古屋市内に二十歳前後の若者の姿がほとんど見られなくなる、も考えられます。</p> <p>そこで現実的な基本計画を提案します。「名古屋芸術大学」を半官半民の市立大学にするのです。これは他県ですでにいくつか実行されていて、大成功を収めております（先の資料A参照）。財務的には北名古屋市にさほどの負担はありません。月謝を今の半額にしても、今の倍の学生が集まれば、とんとんだという単純計算が成り立ちます。もちろん、現実には学生が倍の数になれば、非常勤講師の数を増やすなどの問題は避けられません。しかし、極めて難解な問題は存在しません。理事長職も、半官半民ですから、当然そのまま残します。その他、教職員の身分をどう扱うとかの詳細な問題は、他県他市の例を参考にしながら、今後の議論に委ねるべきでしょう。とりあえず、「名古屋芸術大学」を半官半民の市立大学にする。この「ウイン・ウイン、&ウイン」（「&ウイン」＝学生）の案（資料C）を実現させるために、プロジェクト・チームを早急に立ち上げたいと提案します。</p>	⑥その他	<p>主な取組には、現在包括協定を結ぶ名古屋芸術大学、愛知医科大学をあげていますが、主要施策では、多様な連携を想定しており、機会があれば他の大学や企業との連携も検討します。</p> <p>市と大学の意向もあることから、総合計画への反映は時期尚早と考えます。市と大学、それぞれの意向を調整したうえで改めて、メリット・デメリットについて検討すべきと考えます。</p>	総務部